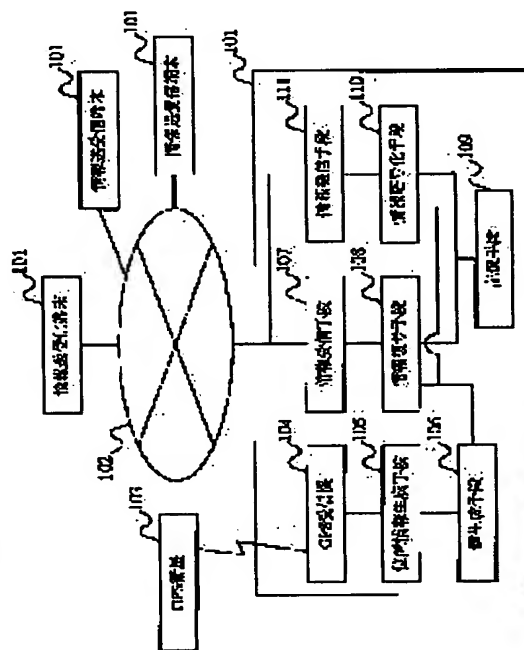


(11)Publication number : 2002-268549  
(43)Date of publication of application : 20.09.2002

(21)Application number : **2001-062422** (71)Applicant : **SHARP CORP**  
(22)Date of filing : **06.03.2001** (72)Inventor : **MIZUGUCHI MITSURU**

**(57)Abstract:**

**SOLUTION:** In an information transmission/reception terminal 101, from geographical present position information generated by a position information generation means 105, a key generation means 106 generates the decipher key for trial. An information deciphering means 108 tries the deciphering of the ciphered information with the decipher key for the trial. Only when the geographic present position information generated by the position information generation means 105 and the geographic position information which is the base of generating the decipher key match, the ciphered information is deciphered.



[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's  
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号  
特開2002-268549  
(P2002-268549A)

(43) 公開日 平成14年9月20日 (2002.9.20)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テーム (参考)
G 0 9 C 1/00	6 6 0	G 0 9 C 1/00	6 6 0 D 5 B 0 1 7
G 0 6 F 12/00	5 3 7	G 0 6 F 12/00	5 3 7 A 5 B 0 8 2
12/14	3 1 0	12/14	3 1 0 K 5 B 0 8 5
15/00	3 3 0	15/00	3 3 0 D 5 J 1 0 4

審査請求 未請求 請求項の数16 O L (全 24 頁)

(21) 出願番号 特願2001-62422 (P2001-62422)

(22) 出願日 平成13年3月6日 (2001.3.6)

(71) 出願人 000005049

シャープ株式会社

大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号

(72) 発明者 水口 充

大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号 シ  
ャープ株式会社内

(74) 代理人 100080034

弁理士 原 謙三

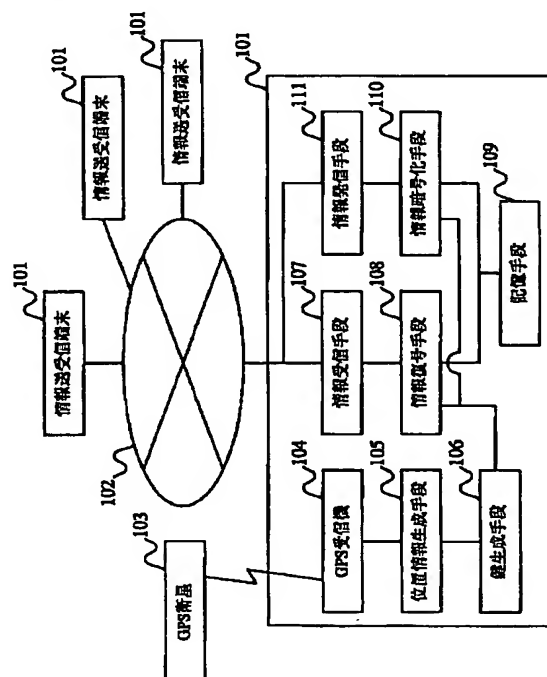
Fターム (参考) 5B017 AA07 BA06 BA07 CA15  
5B082 EA11 GA11  
5B085 AE06 AE29  
5J104 AA16 DA01 NA02

(54) 【発明の名称】 情報へのアクセス制御方法、情報へのアクセス制御装置、情報へのアクセス制御ネットワークシステム、情報へのアクセス制御プログラム

(57) 【要約】

【課題】 暗号化された情報を、復号する端末の地理的位置や、復号する時間に関する情報から生成した復号鍵で復号できるようにすることで情報へのアクセスを制御する。

【解決手段】 情報送受信端末101において、位置情報生成手段105が生成した地理的現在位置情報から、鍵生成手段106が試行用復号鍵を生成する。情報復号手段108は、該試行用復号鍵で前記暗号化された情報の復号を試みる。位置情報生成手段105が生成した地理的現在位置情報と、復号鍵を生成する元になった地理的位置情報とが一致する時のみ、前記暗号化された情報が復号されることを特徴としている。



**【特許請求の範囲】**

【請求項1】地理的位置情報から生成された復号鍵で復号できるように暗号化された情報へのアクセスを制御する方法であって、

地理的現在位置情報を生成する第1のステップと、

前記第1のステップで生成された地理的現在位置情報から試行用復号鍵を生成する第2のステップと、

前記第2のステップで生成された試行用復号鍵で前記暗号化された情報の復号を試みる第3のステップとを備え、

前記第1のステップで得られた地理的現在位置情報と前記復号鍵を生成する地理的位置情報とが一致する時のみ、前記暗号化された情報が復号されることを特徴とする情報へのアクセス制御方法。

【請求項2】更に、前記地理的現在位置情報から、一つあるいは複数の、地理的に近傍となる地理的近傍位置情報を生成する第4のステップと、

前記第3のステップにおいて前記試行用復号鍵では正しく復号できなかった時に、前記第4のステップで生成された地理的近傍位置情報から新たな試行用復号鍵を生成して、該新たな試行用復号鍵で前記暗号化された情報の復号を試みる第5のステップとを備えることを特徴とする、請求項1に記載の情報へのアクセス制御方法。

【請求項3】更に、前記地理的現在位置情報から、一つあるいは複数の、地理的位置の精度を変更した異精度地理的位置情報を生成する第6のステップと、

前記第3のステップにおいて前記試行用復号鍵では正しく復号できなかった時に、前記第6のステップで生成された異精度地理的位置情報から新たな試行用復号鍵を生成して、該新たな試行用復号鍵で前記暗号化された情報の復号を試みる第7のステップとを備えていることを特徴とする、請求項1に記載の情報へのアクセス制御方法。

【請求項4】時間情報から生成された復号鍵で復号できるように暗号化された情報へのアクセスを制御する方法であって、

現在時間情報を生成する第1のステップと、

前記第1のステップで生成された現在時間情報から試行用復号鍵を生成する第2のステップと、

前記第2のステップで生成された試行用復号鍵で前記暗号化された情報の復号を試みる第3のステップとを備え、

前記第1のステップで得られた現在時間情報と前記復号鍵を生成する時間情報とが一致する時のみ、前記暗号化された情報が正しく復号されることを特徴とする情報へのアクセス制御方法。

【請求項5】更に、前記現在時間情報から、一つあるいは複数の、時間的に近傍となる近傍時間情報を生成する第4のステップと、

前記第3のステップにおいて前記試行用復号鍵では正し

く復号できなかった時に、前記第4のステップで生成された近傍時間情報から新たな試行用復号鍵を生成して、該新たな試行用復号鍵で前記暗号化された情報の復号を試みる第5のステップとを備えることを特徴とする、請求項4に記載の情報へのアクセス制御方法。

【請求項6】更に、前記現在時間情報から、一つあるいは複数の、時間の精度を変更した異精度時間情報を生成する第6のステップと、

前記第3のステップにおいて前記試行用復号鍵では正しく復号できなかった時に、前記第6のステップで生成された異精度時間情報から新たな試行用復号鍵を生成して、該新たな試行用復号鍵で前記暗号化された情報の復号を試みる第7のステップとを備えていることを特徴とする、請求項4に記載の情報へのアクセス制御方法。

【請求項7】前記暗号化された情報は広告に関する情報であることを特徴とする、請求項1乃至6のいずれか一項に記載の情報へのアクセス制御方法。

【請求項8】前記暗号化された情報は利用者間でのコミュニケーションを行うためのメッセージデータであることを特徴とする、請求項1乃至6のいずれか一項に記載の情報へのアクセス制御方法。

【請求項9】前記暗号化された情報は遊技に利用される情報であることを特徴とする、請求項1乃至6のいずれか一項に記載の情報へのアクセス制御方法。

【請求項10】地理的位置情報から生成された復号鍵で復号できるように暗号化された情報へのアクセスを制御するアクセス制御装置であって、

地理的現在位置情報を生成する位置情報生成手段と、

前記位置情報生成手段によって生成された地理的現在位置情報から試行用復号鍵を生成する試行用復号鍵生成手段と、

前記試行用復号鍵生成手段で生成された試行用復号鍵で前記暗号化された情報の復号を試みる情報復号手段とを備え、

前記位置情報生成手段で生成された地理的現在位置情報と前記復号鍵を生成する地理的位置情報とが一致する時のみ、前記暗号化された情報が復号されることを特徴とする情報へのアクセス制御装置。

【請求項11】前記位置情報生成手段によって生成された地理的位置情報から暗号化鍵を生成する第一の暗号化鍵生成手段と、

前記情報復号手段によって復号された情報を、前記暗号化鍵で暗号化する第一の情報暗号化手段と、

ネットワークを介して情報を送受信する第一の通信手段とを備えたことを特徴とする請求項10に記載の情報へのアクセス制御装置。

【請求項12】時間情報から生成された復号鍵で復号できるように暗号化された情報へのアクセスを制御するアクセス制御装置であって、

現在時間情報を生成する時間情報生成手段と、

前記時間情報生成手段で生成された現在時間情報から試行用復号鍵を生成する試行用復号鍵生成手段と、

前記試行用復号鍵生成手段で生成された試行用復号鍵で前記暗号化された情報の復号を試みる情報復号手段とを備え、

前記時間情報生成手段で生成された現在時間情報と前記復号鍵を生成する時間情報とが一致する時にのみ、前記暗号化された情報が復号されることを特徴とする情報へのアクセス制御装置。

【請求項13】前記時間情報生成手段によって生成された時間情報から暗号化鍵を生成する第一の暗号化鍵生成手段と、  
前記情報復号手段によって復号された情報を、前記暗号化鍵で暗号化する第一の情報暗号化手段と、  
ネットワークを介して情報を送受信する第一の通信手段とを備えたことを特徴とする請求項12に記載の情報へのアクセス制御装置。

【請求項14】地理的位置情報から生成された復号鍵で復号できるように暗号化された情報へのアクセスを制御する情報へのアクセス制御ネットワークシステムであって、  
請求項10または11に記載された情報へのアクセス制御装置と、  
任意の場所の地理的位置情報から、情報を暗号化する鍵を生成する第二の暗号化鍵生成手段、暗号化鍵生成手段が生成した暗号化鍵で情報を暗号化する第二の情報暗号化手段、および情報を送受信する第二の通信手段を備えたサーバ装置とを、ネットワークを介して接続したことを特徴とする情報へのアクセス制御ネットワークシステム。

【請求項15】時間情報から生成された復号鍵で復号できるように暗号化された情報へのアクセスを制御する情報へのアクセス制御ネットワークシステムであって、  
請求項12または13に記載された情報へのアクセス制御装置と、  
任意の時間情報から、情報を暗号化する鍵を生成する第二の暗号化鍵生成手段、暗号化鍵生成手段が生成した暗号化鍵で情報を暗号化する第二の情報暗号化手段、および情報を送受信する第二の通信手段を備えたサーバ装置とを、ネットワークを介して接続したことを特徴とする情報へのアクセス制御ネットワークシステム。

【請求項16】請求項1ないし9のいずれか一項に記載の情報へのアクセス制御方法をコンピュータに実行させるための情報へのアクセス制御プログラム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、地理的位置や時間に関する情報を利用した、情報へのアクセス制御方法、情報へのアクセス制御装置、情報へのアクセス制御ネットワークシステム、情報へのアクセス制御方法をコンピ

ュータに実行させるためのプログラムに関する。

【0002】

【従来の技術】コンピュータや携帯情報端末などの機器で、フロッピー（登録商標）ディスクやハードディスクやCD-ROMなどの記録媒体に記録された情報にアクセスしたり、一般電話回線や専用回線や無線回線によるネットワークを介して別の機器に記憶された情報にアクセスすることができる。

【0003】このようにしてアクセスできる情報の中には、秘密の情報であるなどの理由によりアクセスを制限することがある。従来の、情報へのアクセスを制限する方法としては、記録媒体に記録された情報へのアクセスを試みる際や、ネットワークに接続する際にパスワードの入力を要求して、入力されたパスワードが予め設定されたパスワードと一致する場合にのみアクセスを許可する方法や、アクセスされる情報を特定の暗号化鍵を用いて予め暗号化しておき、該暗号化された情報にアクセスするには正しく復号化できる復号鍵を用いて復号する方法などがある。これらの方法はいずれも利用者を認証することによって情報へのアクセスを制御している。

【0004】一方、利用者を認証しない情報へのアクセス制御方法としては、位置情報を供給する受信機により受信した信号に基づいて確定される実際の地理的位置と、格納情報に対するアクセスが許可される地理的な領域とを比較して、実際の地理的位置が許可された地理的領域内に位置する場合、あるいは、時間情報を供給する受信機により受信した信号に基づいて確定される実際の時間が、格納情報に対するアクセスが許可される所定期間内に属する場合、利用者は格納情報へのアクセスを許されるというようにして、地理的な位置情報や時間情報を利用して情報へのアクセスを制御する方法が特開2000-163379号公報に開示されている。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】ところで、近年では携帯電話や携帯情報端末などの携帯機器の発達により、いつでもどこでも情報にアクセスすることが可能になってきている。しかし、例えば特定の場所に来訪した人にだけ公開したい情報や、特定の時間のみ閲覧を可能とする情報のように、情報によってはいつでもどこでもアクセスされることが望ましくない場合がある。前述のパスワードの入力を要求する方法や正しく復号化できる復号鍵を用いて復号する方法などの、利用者を認証する方法では、利用者が認証されれば、いつでもどこでも情報にアクセスできてしまうので、前述のような特定の場所や時間でのみ公開したい情報へのアクセスを制限することはできなかった。

【0006】特開2000-163379号公報に記載の方法はこの問題を解決するものであるが、情報にアクセスする実際の地理的位置を、情報へのアクセスが許された地理的領域と比較してアクセスを許可するため、こ

これらのアクセスを許可する地理的領域にアクセスされる情報に対応付けて、情報にアクセスする機器が備える情報格納手段に記憶しておく必要がある。しかし、前記情報にアクセスする機器において、アクセスを許可する地理的領域に関する情報を削除や改変するなどの改竄がなされることによって、前記情報へのアクセスが可能になってしまうという問題があった。これは、アクセスを許可するための情報を情報格納手段に記憶しておく形態が、抱えざるを得ない問題である。

【0007】また、特開2000-163379号公報には、暗号鍵を用いて格納情報を暗号化するステップと、情報にアクセスする実際の地理的位置が、情報へのアクセスが許可された地理的領域内に位置する場合に、前記格納情報への解読を許す解読キーを提供するステップを有することによって、情報へのアクセスを制御する方法も記載されている。この方法によれば暗号化された格納情報に直接アクセスしても内容を参照できないようにできるが、依然として上述のような、アクセスを許可する地理的位置や時間に関する情報を削除や改変するなどの改竄には弱いという問題があった。

【0008】なお、情報へのアクセスを許可する地理的位置に関する情報を更に暗号化しておけば上述のような改竄に対して強くなる。しかし、不特定の機器で同一の情報に特定の場所でのみアクセスを許可しようとする場合には、どの機器でも前記暗号化された情報へのアクセスを許可する地理的位置に関する情報を復号できる必要があるため、暗号化しておく意義はあまり無く、却って情報へのアクセスを許可する地理的位置に関する情報を暗号化したり復号する処理が手間となるという問題があった。

【0009】本発明は、上記の課題を解決するためになされたものであって、その目的は、暗号化された情報を、復号する端末の地理的位置や復号化する時間に関する情報から生成した復号鍵で復号することで情報へのアクセスを制御する、情報へのアクセス制御方法、情報へのアクセス制御装置、情報へのアクセス制御ネットワークシステム、情報へのアクセス制御方法をコンピュータに実行させるためのプログラムを提供することにある。

【0010】

【課題を解決するための手段】・本発明に関わる情報へのアクセス制御方法は、上記の課題を解決するための、地理的位置情報から生成された復号鍵で復号できるように暗号化された情報へのアクセスを制御する方法であって、地理的現在位置情報を生成する第1のステップと、前記第1のステップで生成された地理的現在位置情報から試行用復号鍵を生成する第2のステップと、前記第2のステップで生成された試行用復号鍵で前記暗号化された情報の復号を試みる第3のステップとを備え、前記第1のステップで得られた地理的現在位置情報と前記復号鍵を生成する地理的位置情報とが一致する時にのみ、前

記暗号化された情報が復号されることを特徴としている。

【0011】ここで、地理的現在位置情報とは、本発明に関わる情報へのアクセス制御方法を実施して前記暗号化された情報へのアクセスを試みる時点での、アクセスを試みる地理的な位置を表わす情報のことである。

【0012】前記第1のステップで地理的現在位置情報を生成するためには、例えばGPS(Global Positioning System)受信機を利用して現在の位置を生成してもよいし、PHS(Personal Handyphone System)での位置情報取得方法のように、複数の基地局から受信した信号によって受信機の現在の位置を計算して生成するようにしてもよい。

【0013】上記の構成により、前記第1のステップで生成された地理的現在位置情報から前記第2のステップで試行用復号鍵を生成し、前記第3のステップで該試行用復号鍵で前記暗号化された情報の復号を試みる。前記第1のステップで生成された地理的現在位置情報と前記復号鍵を生成する地理的位置情報とが一致する時にのみ、前記暗号化された情報が復号されるので、情報にアクセスする機器が実際に位置する場所に応じて情報へのアクセスの可否が決定されるような、場所に応じた情報へのアクセス制御を行うことができる。

【0014】すなわち、本発明のアクセス制御方法では、アクセスを許可するための許可情報を情報格納手段に記憶しておく形態ではないので、許可情報の改竄によってアクセス制御を破られるおそれが無く、また前記暗号化された情報自体を改竄して情報の内容を参照することも困難であるため、情報に対するセキュリティを高めることができる。

【0015】なお、前記暗号化鍵と前記復号鍵は、暗号化の方式に応じて、同一であってもよいし、対をなす異なるものであってもよい。例えば単一アルファベット系などの暗号化方式であれば、前記暗号化鍵と前記復号鍵は同一のものを使用する。また、公開鍵方式のような暗号化方式であれば、前記暗号化鍵と前記復号鍵は対をなす異なる鍵となる。

【0016】前者の方法を用いれば、ある地理的位置情報から生成された復号鍵で正しく復号できるように暗号化するための暗号化鍵は、該復号鍵を生成する地理的位置情報と同一になるので、処理を簡便化することができる。

【0017】また、前記第1のステップで得られる地理的現在位置情報の精度は、前記情報にアクセスできる範囲の広さに影響する。地理的現在位置情報の精度とは、例えば地理的現在位置情報を緯度および経度で表わす場合においては、度、分、秒のいずれの精度で表わすか、ということである。前記第1のステップで得られる地理的現在位置情報の精度が高い場合には、同じ地理的現在位置情報が得られる実際の地理的な領域は狭くなるの

で、前記情報にアクセスできる領域も狭くなる。

【0018】逆に、前記第1のステップで得られる地理的位置情報の精度が低い場合には、同じ地理的現在位置情報が得られる実際の地理的な領域は広がるので、前記情報にアクセスできる領域も広がる。前記第1のステップで得られる地理的現在位置情報の精度をどの程度にするかは、情報へのアクセスを制限したい領域の広さや、前記第1のステップで生成可能な地理的現在位置情報の最高の精度に応じて、予め決定しておけばよい。

【0019】・本発明に関わる情報へのアクセス制御方法は、上記の課題を解決するために、上記の構成に加えて、前記地理的現在位置情報から、一つあるいは複数の、地理的に近傍となる地理的近傍位置情報を生成する第4のステップと、前記第3のステップにおいて前記試行用復号鍵では正しく復号できなかった時に、前記第4のステップで生成された地理的近傍位置情報から新たな試行用復号鍵を生成して、該新たな試行用復号鍵で前記暗号化された情報の復号を試みる第5のステップとを備えていることを特徴としている。

【0020】上記の構成により、さらに、前記第3のステップにおいて前記試行用復号鍵では前記暗号化された情報が復号されなかった時に、前記第5のステップは前記第4のステップで生成された地理的近傍位置情報から新たな試行用復号鍵を生成して、該新たな試行用復号鍵で前記暗号化された情報の復号を試みる。この結果、地理的近傍位置情報が、復号鍵を生成する地理的位置情報と一致した場合には、暗号化された情報の復号に成功することができる。

【0021】よって、本発明に関わる情報へのアクセス制御方法を実施して情報にアクセスしようとする機器の実際の地理的位置が、前記暗号化された情報を正しく復号できる復号鍵を生成するための地理的位置と完全に一致していなくても、近傍となっていれば、情報の復号を少なくとも1回以上試みることによって、正しく復号できる。

【0022】・本発明に関わる情報へのアクセス制御方法は、上記の課題を解決するために、上記の構成に加えて、前記地理的現在位置情報から、一つあるいは複数の、地理的位置の精度を変更した異精度地理的位置情報を生成する第6のステップと、前記第3のステップにおいて前記試行用復号鍵では正しく復号できなかった時に、前記第6のステップで生成された異精度地理的位置情報から新たな試行用復号鍵を生成して、該新たな試行用復号鍵で前記暗号化された情報の復号を試みる第7のステップとを備えている。

【0023】上記の構成により、さらに、前記第3のステップにおいて前記試行用復号鍵では前記暗号化された情報が復号されなかった時に、前記第7のステップは前記第6のステップで生成された異精度地理的位置情報から新たな試行用復号鍵を生成して、該新たな試行用復号

鍵で前記暗号化された情報の復号を試みる。従って、復号鍵を生成した地理的位置情報の精度が判らなくても、異精度地理的位置情報から新たな試行用復号鍵を生成することによって、異精度地理的位置情報が、復号鍵を生成する地理的位置情報と一致した場合には、暗号化された情報の復号に成功することができる。

【0024】よって、情報へのアクセスを制御する側にとっては、復号できる地理的位置を広くしたい情報に対しては精度の粗い地理的位置情報から生成された復号鍵で復号できるように暗号化し、逆に復号できる地理的位置を狭くしたい情報に対しては精度の高い地理的位置情報から生成された復号鍵で復号できるように暗号化することによって、情報にアクセスできる地理的な広さを制御できることになる。

【0025】・本発明に関わる情報へのアクセス制御方法は、上記の課題を解決するための、時間情報から生成された復号鍵で復号できるように暗号化された情報へのアクセスを制御する方法であって、現在時間情報を生成する第1のステップと、前記第1のステップで生成された現在時間情報から試行用復号鍵を生成する第2のステップと、前記第2のステップで生成された試行用復号鍵で前記暗号化された情報の復号を試みる第3のステップとを備え、前記第1のステップで得られた現在時間情報と前記復号鍵を生成する時間情報とが一致する時のみ、前記暗号化された情報が正しく復号されることを特徴としている。

【0026】ここで、現在時間情報とは、本発明に関わる情報へのアクセス制御方法を実施して前記暗号化された情報へのアクセスを試みる時点の時刻を表わす情報のことである。ただし、後で説明するように、現在時間情報は、現在時間を表そうとする精度によって、時間の単位が変わるものである。

【0027】前記第1のステップで現在時間情報を生成するためには、例えばコンピュータに通常内蔵されているような時計機能を利用してもよいし、ネットワークを介して別の機器から受信される時間情報を利用してもよい。

【0028】上記の構成により、さらに、前記第1のステップで生成された現在時間情報から前記第2のステップで試行用復号鍵を生成し、前記第3のステップで該試行用復号鍵で前記暗号化された情報の復号を試みる。前記第1のステップで生成された現在時間情報と前記復号鍵を生成する現在時間情報とが一致する時のみ前記暗号化された情報が復号されるので、情報にアクセスしようとする時間に応じて情報へのアクセスの可否が決定されるような、時間に応じた情報へのアクセス制御を行うことができる。

【0029】このアクセス制御方法では、アクセスを許可するための情報を情報格納手段に記憶しておく形態ではないので、情報の改竄によってアクセス制御を破られ



るおそれが無く、また前記暗号化された情報自体を改竄して情報の内容を参照することも困難であるので、情報に対するセキュリティを高めることができる。

【0030】なお、前記第1のステップで得られる現在時間情報の精度は、前記情報にアクセスできる期間に影響する。現在時間情報の精度とは、例えば年、月、週、日、時、分、秒のいずれの精度で現在時間を表わすか、ということである。前記第1のステップで得られる現在時間情報の精度が高い場合には、同じ現在時間情報が得られる実際の期間の幅は狭くなるので、前記情報にアクセスできる期間は短くなる。逆に、前記第1のステップで得られる現在時間情報の精度が低い場合には、同じ現在時間情報が得られる実際の期間の幅は広くなるので、前記情報にアクセスできる期間の幅は広くなる。前記第1のステップで得られる現在時間情報の精度をどの程度にするかは、情報へのアクセスを制限したい期間の幅や、前記第1のステップで生成可能な現在時間情報の最高の精度に応じて、予め決定しておけばよい。

【0031】・本発明に関わる情報へのアクセス制御方法は、上記の課題を解決するために、上記の構成に加えて、前記現在時間情報から、一つあるいは複数の、時間的に近傍となる近傍時間情報を生成する第4のステップと、前記第3のステップにおいて前記試行用復号鍵では正しく復号できなかった時に、前記第4のステップで生成された近傍時間情報から新たな試行用復号鍵を生成して、該新たな試行用復号鍵で前記暗号化された情報の復号を試みる第5のステップとを備えている。

【0032】上記の構成により、さらに、前記第3のステップにおいて前記試行用復号鍵では前記暗号化された情報が復号されなかった時に、前記第5のステップは前記第4のステップで生成された近傍時間情報から新たな試行用復号鍵を生成して、該新たな試行用復号鍵で前記暗号化された情報の復号を試みる。この結果、近傍時間情報が、復号鍵を生成する時間情報と一致した場合には、暗号化された情報の復号に成功することができる。

【0033】よって、本発明に関わる情報へのアクセス制御方法を実施して情報にアクセスしようとする実際の時間が、前記暗号化された情報を正しく復号できるような復号鍵を生成する時間と完全に一致していなくても、時間的に近傍となっていれば、情報の復号を少なくとも1回以上試みることによって、正しく復号できる。

【0034】・本発明に関わる情報へのアクセス制御方法は、上記の課題を解決するために、上記の構成に加えて、前記現在時間情報から、一つあるいは複数の、時間の精度を変更した異精度時間情報を生成する第6のステップと、前記第3のステップにおいて前記試行用復号鍵では正しく復号できなかった時に、前記第6のステップで生成された異精度時間情報から新たな試行用復号鍵を生成して、該新たな試行用復号鍵で前記暗号化された情報の復号を試みる第7のステップとを備えている。

【0035】上記の構成により、さらに、前記第3のステップにおいて前記試行用復号鍵では前記暗号化された情報が復号されなかった時に、前記第7のステップは前記第6のステップで生成された異精度時間情報から新たな試行用復号鍵を生成して、該新たな試行用復号鍵で前記暗号化された情報の復号を試みる。従って、復号鍵を生成した時間情報の精度が判らなくても、異精度時間情報から新たな試行用復号鍵を生成することによって、異精度時間情報が、復号鍵を生成する時間情報と一致した場合には、暗号化された情報の復号に成功することができる。

【0036】よって、情報へのアクセスを制御する側にとっては、復号できる時間の範囲を広くしたい情報に対しては精度の粗い時間情報から生成された復号鍵で復号できるように暗号化し、逆に復号できる時間の範囲を狭くしたい情報に対しては精度の高い時間情報から生成された復号鍵で復号できるように暗号化することによって、情報にアクセスできる時間の範囲を制御することができることになる。

【0037】・本発明に関わる情報へのアクセス制御方法における前記暗号化された情報は広告に関する情報であることを特徴としている。

【0038】上記の構成により、さらに、前記暗号化された広告に関する情報は特定の場所や時間でのみ復号して参照することができ、また、前記暗号化された広告に関する情報を改竄して内容を参照することは困難であるので、例えば広告主の店舗に来た人のみが内容を参照できるというような特定の地理的位置からの情報アクセスを許可することで集客効果を上げたり、特定の時間でのみ内容を参照することができるようにしてタイムサービスのように時間を限定する、というような広告を実現することができる。

【0039】・本発明に関わる情報へのアクセス制御方法における前記暗号化された情報は利用者間でのコミュニケーションを行うためのメッセージデータであることを特徴としている。

【0040】上記の構成により、さらに、前記暗号化されたメッセージデータは特定の場所や時間でのみ正しく復号して参照することができ、また、前記暗号化されたメッセージデータを改竄して内容を参照することは困難であるので、特定の場所でのみ参照することができる掲示板のようなメッセージを利用したコミュニケーションを行うことができる。

【0041】・本発明に関わる情報へのアクセス制御方法における前記暗号化された情報は遊技（または遊戯）に利用される情報であることを特徴としている。

【0042】上記の構成により、さらに、前記暗号化された遊技に関する情報は特定の場所や時間でのみ正しく復号して参照することができ、また、前記暗号化された遊技に利用される情報を改竄して内容を参照することは



困難であるので、宝探しやオリエンテーリングのような、実世界中の位置や時間を利用した遊技を実現することができる。

【0043】なお、情報のアクセス制御を地理的位置情報に基づいて行うアクセス制御方法と、時間情報に基づいて行うアクセス制御方法とを組み合わせることができることはいうまでもない。例えば、時間情報から生成された復号鍵で復号できるように暗号化された情報を、さらに地理的位置情報から生成された復号鍵で復号できるように暗号化し、地理的現在位置情報から生成した試行用復号鍵が上記地理的位置情報から生成された復号鍵と一致した場合に、情報の一部が解読されて目標場所が明らかにされ、さらに、現在時間情報から生成した試行用復号鍵が上記時間情報から生成された復号鍵と一致した場合に、情報の全てが解読されて目標時間も明らかにされるというように、情報へのアクセスを制御することができる。

【0044】・本発明に関わる情報へのアクセス制御装置は、上記の課題を解決するための、地理的位置情報から生成された復号鍵で復号できるように暗号化された情報へのアクセスを制御するアクセス制御装置であって、地理的現在位置情報を生成する位置情報生成手段と、前記位置情報生成手段によって生成された地理的現在位置情報から試行用復号鍵を生成する試行用復号鍵生成手段と、前記試行用復号鍵生成手段で生成された試行用復号鍵で前記暗号化された情報の復号を試みる情報復号手段とを備え、前記位置情報生成手段で生成された地理的現在位置情報と前記復号鍵を生成する地理的位置情報とが一致する時にのみ、前記暗号化された情報が復号されることを特徴としている。

【0045】上記の構成により、前記位置情報生成手段で生成された地理的現在位置情報から前記試行用復号鍵生成手段で試行用復号鍵を生成し、前記情報復号手段は該試行用復号鍵で前記暗号化された情報の復号を試みる。前記位置情報生成手段で生成された地理的現在位置情報と前記復号鍵を生成する地理的位置情報とが一致する時にのみ前記暗号化された情報が復号されるので、本発明に関わる情報へのアクセス制御装置が実際に位置する場所に応じて情報へのアクセスの可否が決定されるような、場所に応じた情報へのアクセス制御を行うことができる。

【0046】すなわち、本発明のアクセス制御装置では、アクセスを許可するための許可情報を情報格納手段に記憶しておく形態ではないので、許可情報の改竄によってアクセス制御を破られるおそれが無く、また前記暗号化された情報自体を改竄して情報の内容を参照することは困難であるので、情報に対するセキュリティを高めることができる。

【0047】・本発明に関わる情報へのアクセス制御装置は、上記の課題を解決するために、上記の構成に加え

て、前記位置情報生成手段によって生成された地理的位置情報から暗号化鍵を生成する第一の暗号化鍵生成手段と、前記情報復号手段によって復号された情報を、前記暗号化鍵で暗号化する第一の情報暗号化手段と、ネットワークを介して情報を送受信する第一の通信手段とを備えていることを特徴としている。

【0048】上記の構成により、さらに、前記第一の情報暗号化手段は前記情報復号手段によって復号された情報を、前記第一の暗号化鍵生成手段で生成された暗号化鍵で暗号化し、前記第一の通信手段で該暗号化された情報を送信する。該暗号化された情報を受信した別の、本発明に関わる情報へのアクセス制御装置は前述のようにして該暗号化された情報を復号する。

【0049】よって、本発明に関わる情報へのアクセス制御装置が受信して復号した情報を、再び暗号化して別のアクセス制御装置に送信することによって、特定の場所でのみ内容を参照することのできる情報を利用した、アクセス制御装置同士のコミュニケーションを取ることができる。また、あるアクセス制御装置が、暗号化された情報の配信元になるサーバ装置として機能することができる。

【0050】・本発明に関わる情報へのアクセス制御装置は、上記の課題を解決するための、時間情報から生成された復号鍵で復号できるように暗号化された情報へのアクセスを制御するアクセス制御装置であって、現在時間情報を生成する時間情報生成手段と、前記時間情報生成手段で生成された現在時間情報から試行用復号鍵を生成する試行用復号鍵生成手段と、前記試行用復号鍵生成手段で生成された試行用復号鍵で前記暗号化された情報の復号を試みる情報復号手段とを備え、前記時間情報生成手段で生成された現在時間情報と前記復号鍵を生成する時間情報とが一致する時にのみ、前記暗号化された情報が復号されることを特徴としている。

【0051】上記の構成により、前記時間情報生成手段で生成された現在時間情報から前記試行用復号鍵生成手段で試行用復号鍵を生成し、前記情報復号手段は該試行用復号鍵で前記暗号化された情報の復号を試みる。前記時間情報生成手段で生成された現在時間情報と前記復号鍵を生成する現在時間情報とが一致する時にのみ前記暗号化された情報が復号されるので、情報にアクセスしようとする時間に応じて情報へのアクセスの可否が決定されるような、時間に応じた情報へのアクセス制御を行うことができる。

【0052】すなわち、本発明のアクセス制御装置では、アクセスを許可するための情報を情報格納手段に記憶しておく形態ではないので、情報の改竄によってアクセス制御を破られるおそれが無く、また、前記暗号化された情報自体を改竄して情報の内容を参照することは困難であるので、情報に対するセキュリティを高めることができる。

【0053】・本発明に関わる情報へのアクセス制御装置は、上記の課題を解決するために、上記の構成に加えて、前記時間情報生成手段によって生成された時間情報から暗号化鍵を生成する第一の暗号化鍵生成手段と、前記情報復号手段によって復号された情報を、前記暗号化鍵で暗号化する第一の情報暗号化手段と、ネットワークを介して情報を送受信する第一の通信手段とを備えている。

【0054】上記の構成により、さらに、前記第一の情報暗号化手段は前記情報復号手段によって復号された情報を、前記第一の暗号化鍵生成手段で生成された暗号化鍵で暗号化し、前記第一の通信手段で該暗号化された情報を送信する。該暗号化された情報を受信した別の、本発明に関わる情報へのアクセス制御装置は前述のようにして該暗号化された情報を復号する。

【0055】よって、本発明に関わる情報へのアクセス制御装置が受信して復号した情報を、再び暗号化して別のアクセス制御装置に送信することによって、特定の時間でのみ内容を参照することのできる情報を利用した、アクセス制御装置同士のコミュニケーションを取ることができる。また、あるアクセス制御装置が、暗号化された情報の配信元になるサーバ装置として機能することができる。

【0056】・本発明に関わる情報へのアクセス制御ネットワークシステムは、上記の課題を解決するために、上述のアクセス制御装置と、任意の場所の地理的位置情報から、情報を暗号化する鍵を生成する第二の暗号化鍵生成手段、暗号化鍵生成手段が生成した暗号化鍵で情報を暗号化する第二の情報暗号化手段、および情報を送受信する第二の通信手段を備えたサーバ装置とを、ネットワークを介して接続したことを特徴としている。

【0057】任意の場所の地理的位置情報を取得する方法としては、予め格納している地図情報を読み出す方法、外部の地理的位置情報を提供する装置から受信して取得する方法、キーボードなどの入力装置によって利用者が入力した地理的位置情報を取得する方法、など、種々の形態を取り得る。

【0058】上記の構成により、前記サーバ装置から送信された、前記第二の暗号化鍵生成手段が生成した暗号化鍵で暗号化された情報を、上述のアクセス制御装置は受信し、上述のようにして復号する。よって、広範なアクセス制御装置を対象として、場所に応じた情報へのアクセス制御を行うことができ、前記暗号化された情報を改竄して情報の内容を参照することは困難であるので、情報に対するセキュリティを高めることができる。

【0059】・本発明に関わる情報へのアクセス制御ネットワークシステムは、上記の課題を解決するために、上述のアクセス制御装置と、任意の時間情報から、情報を暗号化する鍵を生成する第二の暗号化鍵生成手段、暗号化鍵生成手段が生成した暗号化鍵で情報を暗号化する

第二の情報暗号化手段、および情報を送受信する第二の通信手段を備えたサーバ装置とを、ネットワークを介して接続したことを特徴としている。

【0060】任意の時間情報を取得する方法としては、時刻表のような予め設定されて格納されている情報を読み出す方法、外部の、予め設定された時間情報を提供する装置から受信して取得する方法、キーボードなどの入力装置によって利用者が入力した時間情報を取得する方法、など、種々の形態を取り得る。

【0061】上記の構成により、前記サーバ装置から送信された、前記第二の暗号化鍵生成手段が生成した暗号化鍵で暗号化された情報を、上述のアクセス制御装置は受信し、上述のようにして復号する。よって、広範なアクセス制御装置を対象として、時間に応じた情報へのアクセス制御を行うことができ、前記暗号化された情報を改竄して情報の内容を参照することは困難であるので、情報に対するセキュリティを高めることができる。

【0062】・本発明に関わる情報へのアクセス制御プログラムは、上記の課題を解決するために、上述の情報へのアクセス制御方法をコンピュータに実行させるためのプログラムである。

【0063】上記の構成により、一般的なコンピュータが上述の情報へのアクセス制御方法を実行することを実現できる。

【0064】なお、上述の情報へのアクセス制御方法をコンピュータに実行させるための情報へのアクセス制御プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体も本発明の権利範囲に属することは言うまでもない。

【0065】また、本発明に関わる情報へのアクセス制御方法を実施する端末装置は、それぞれの端末装置に固有な番号などの識別子を記憶しておき、前記暗号化された情報は該情報の参照を許可する端末装置の持つ識別子から生成された復号鍵で復号できるように更に暗号化されていて、前記端末装置は前記情報復号手段で前記暗号化された情報の復号を試みる前に、該端末装置が持つ識別子から復号鍵を生成して、該生成された復号鍵で前記暗号化された情報を復号するようにしてもよい。

【0066】このようにすると、前記暗号化された情報は上述のようにして予め該情報の参照を許可された特定の端末装置でのみ正しく復号できるので、該情報を複製して別の端末装置で復号することを抑止することができる。

【0067】また、前記識別子はツリー構造のような階層構造を持ち、前記暗号化された情報は該情報の参照を許可する端末装置が含まれるような階層までを表わす、識別子の一部分から生成された復号鍵で復号できるように更に暗号化されていて、前記端末装置は前記情報復号手段で前記暗号化された情報の復号を試みる前に、ある階層までを表わす該端末が持つ識別子の一部分から復号

鍵を生成して、該生成された復号鍵で前記暗号化された情報を復号するようにしてもよい。

【0068】例えば前記識別子が「a.b.c.d」というように、上位のグループ名から下位のグループ名までを「.」でつないだ形式であるとする。これは、「奈良県.天理市.樺本町」というように、大きなグループから小さなグループまでを記述するのと同様である。この時、「a.b」のグループに含まれる端末装置で正しく復号できるようにするためには、「a.b」から生成される復号鍵で復号できるように前記暗号化された情報を更に暗号化する。

【0069】一方、例えば「a.b.e.f」という識別子を持つ端末装置は、この識別子の一部分である「a」「a.b」「a.b.e」「a.b.e.f」からそれぞれ復号鍵を生成して、それぞれの復号鍵で前記情報の復号を試みると、前記情報は「a.b」から生成された復号鍵で復号される。これに対し、例えば「a.g.h.i」という識別子を持つ端末装置では前記情報を復号できない。

【0070】このようにして、識別子の上位の階層までを表わす識別子の一部分から生成される復号鍵で正しく復号できるようにすれば、正しく復号できる端末装置を多くすることができ、逆に下位の階層までを表わす識別子の一部分から生成される復号鍵で正しく復号できるようにすれば、正しく復号できる端末装置を少数に限定することができるというように、前記暗号化された情報を正しく復号できる端末装置の範囲を制御することができる。

【0071】

【発明の実施の形態】（第一の実施形態）本発明の第一の実施形態について図1乃至図10に基づいて説明すれば、以下のとおりである。

【0072】図1は本発明の第一の実施形態に関わる情報へのアクセス制御装置を利用した、情報の送受信を行うシステムの構成を示すブロック図である。

【0073】図1において、101は本発明に関わる情報へのアクセス制御装置である、情報の送受信を行う情報送受信端末、102は複数の情報送受信端末101を接続するためのネットワーク、である。

【0074】情報送受信端末101は本発明に関わる情報へのアクセス制御方法を実施しうる、一般的なコンピュータや携帯情報端末や携帯電話などの機器であってもよい。ネットワーク102は公衆電話回線や無線回線や専用回線やインターネットなどを利用して構成される。ここでは情報送受信端末101は4つのみを示しているが、その数はこれには限らない。

【0075】情報送受信端末101には、一つあるいは複数のGPS衛星103から位置情報である信号を受信するためのGPS受信機104、GPS受信機104で受信された信号から緯度および経度で表現される地理的現在位置情報を生成する位置情報生成手段105、位置情報生成手段105

で生成された地理的現在位置情報から試行用復号鍵あるいは暗号化鍵を生成する鍵生成手段106（試行用復号鍵生成手段および第一の暗号化鍵生成手段）、ネットワーク102に接続される他の情報送受信端末101から暗号化された情報を受信するための情報受信手段107、鍵生成手段106で生成された試行用復号鍵で情報受信手段107

（第一の通信手段）で受信された暗号化された情報の復号を試みる情報復号手段108、情報復号手段108で復号された情報を記憶するための記憶手段109、鍵生成手段106で生成された暗号化鍵で記憶手段109に記憶される情報を暗号化する情報暗号化手段110（第一の情報暗号化手段）、情報暗号化手段110で暗号化された情報をネットワーク102に接続される他の情報送受信端末101に送信するための情報発信手段111（第一の通信手段）、がそれぞれ構成されている。

【0076】ここでは、位置情報受信手段105が実際の地理的位置情報（地理的現在位置情報）を生成する方法として、GPS受信機104によって受信されたGPS衛星103からの信号を利用する例を示したが、これ以外にもPHSによる位置情報取得方法のように、複数の基地局から受信した信号を処理することによって実際の地理的位置情報を得るように構成してもよい。

【0077】また、記憶手段109は情報復号手段108で復号された情報以外にも、ネットワーク102に接続される情報送受信端末101から受信した情報をそのままの形で記憶してもよい。該受信された情報が暗号化されていなければ、そのまま該情報を利用することができる。また、該受信された情報が暗号化されていれば、該情報を受信した時点で復号しなくても一旦記憶手段109に記憶しておき、後に情報復号手段108で復号することもできる。更に、記憶手段109は、別途接続される入力装置によって入力された情報や、別途接続される外部記憶装置から転送された情報を記憶してもよい。

【0078】すべての情報送受信端末101が情報の送受信のための構成を有している必要はない。例えば情報を受信するのみで発信する必要のない端末であれば、情報暗号化手段110および情報発信手段111をその構成から省けばよい。

【0079】さらに、暗号化された情報を発信するサーバ装置が前記ネットワーク102に接続されていてもよい。このようなサーバ装置は情報を発信するのみで受信する必要がない。サーバ装置の構成の一例を図2に示す。

【0080】図2に示したサーバ装置120は、前記情報送受信端末101の構成のうち、情報の発信に関わる、記憶手段109'、情報暗号化手段110'（第二の情報暗号化手段）、情報発信手段111'（第二の通信手段）を備えている。さらに、緯度および経度で表現される地理的位置情報に合わせて地図情報を記憶する地図情報記憶手段121、地図情報記憶装置121に記憶される地図上の地点あ

るいは領域などの場所を指定することによって地理的位置情報を生成する位置情報指定装置122を備えており、任意の場所の地理的位置情報を生成することができる。

【0081】さらに、位置情報指定装置122で生成された地理的位置情報から暗号化鍵を生成する暗号化鍵生成手段123（第二の暗号化鍵生成手段）が構成されている。地図情報記憶装置121は記憶手段109'の一部として構成されていてもよい。

【0082】図2のように構成することによって、前記暗号化鍵生成手段123は前記位置情報指定手段122で指定した任意の場所の地理的位置情報から暗号化鍵を生成する。情報暗号化手段110'は該暗号化鍵で記憶手段109'に記憶される情報を暗号化する。前記情報発信手段111'は該暗号化された情報をネットワーク102に接続される他の情報送受信端末101に送信する。暗号化するための暗号化鍵を生成する地理的位置情報は該情報送受信端末101の実際の位置とは無関係に、位置情報指定装置122で指定した位置とすることができるので、暗号化された情報を発信するだけのサーバ装置として有効な構成となる。

【0083】以下、地理的位置情報から暗号化鍵あるいは復号鍵を生成する例を説明する。例えば東京のある地点の緯度および経度は北緯35度41分15.2秒・東経139度46分24.1秒である。これらの値に出現する数字を順に並べることで「354115213946241」という値を得ることができる。この例では度、分、秒などの単位や小数点は無視して、緯度及び経度を表現している数字を単純に並べている。

【0084】このようにして得られた値を、例えばDES(Data Encryption Standard)などの共通鍵暗号方式における暗号化鍵および復号鍵として使用する。共通鍵暗号方式では暗号化鍵と復号鍵は同じ鍵を使用するので、ある暗号化鍵で暗号化された情報は、該暗号化鍵と同じ鍵を復号鍵として使用することで復号することができる。

【0085】あるいは、公開鍵暗号方式のような暗号化鍵と復号鍵とで異なる鍵を使用する暗号化方式を利用する場合には、上述のようにして地理的位置情報から得られた値を元として、暗号化方式ごとに決められている規則に従うような暗号化鍵と復号鍵とを得て、情報を暗号化する時には暗号化鍵を、情報を復号する時には復号鍵を使用すればよい。

【0086】上記のように地理的位置情報として緯度と経度を用いる場合、世界を対象とするためには、南緯および西経に対応するために、例えば、緯度であれば北極が0度、赤道が90度、南極が180度となるように変換すればよい。この変換は北緯あるいは南緯 $\theta$ 度の緯度を、北緯であれば $90-\theta$ 度、南緯であれば $90+\theta$ 度とすることで得られる。同様にして、経度であれば0度から360度で表わされるように、東経あるいは西経 $\phi$ 度の経度

を、東経であれば $\phi$ 度、西経であれば $360-\phi$ 度となるように変換すればよい。

【0087】また、例えば北緯35度41分5秒と北緯35度4分15秒とでは上記のように出現する数字を単純に並べると、共に「35415」となり同じ値になってしまう。そこで、度、分、秒の各値の桁数が最大の桁数に満たない場合は、例えば5分であれば「05」とするように、0を挿入してもよい。上記の例ではそれぞれ「354105」「350415」となり、異なる値を得ることができる。

【0088】また、緯度や経度の値を均等に分布する値に変換させてもよい。例えば本発明の情報へのアクセス制御方法が対象とする緯度の範囲が北緯24度以上、北緯45度未満に限定されているとすると、北緯 $a$ 度 $b$ 分 $c$ 秒を $\text{INT}((a+b/60+c/3600-24) \times 10000 / (45-24))$ として計算することで0~9999の範囲に均等に分布する値を得ることができる。ここで、INTは与えられた値を超えない整数を返す関数である。

【0089】このように変換すると、21/10000度の範囲で同じ値（地理的位置情報）が得られるようになる。このような変換を用い、値が分布する範囲を変える（例えば、上式で10000を他の数字に変える）ことで、同じ復号鍵を生成する地理的位置の範囲（精度）を調整することができる。

【0090】暗号化された情報を受信して復号する際には、位置情報生成手段105はGPS受信機104が受信した信号から生成された地理的位置の近傍となる、地理的近傍位置情報を併せて生成してもよい。前記地理的現在位置情報から生成された試行用復号鍵では前記暗号化された情報が正しく復号できなかった時に、鍵生成手段106は前記地理的近傍位置情報から新たに試行用復号鍵を生成し、前記情報復号手段108は該試行用復号鍵で該情報の復号を試みる。このような復号の試みを少なくとも1回以上行うことによって、該暗号化された情報を正しく復号できるような復号鍵を生成する地理的位置と、該暗号化された情報を復号しようとする情報送受信端末101の地理的現在位置とが完全に一致していなくても、近傍となっていれば正しく復号できる。

【0091】例えば、北緯35度41分15.2秒・東経139度46分24.1秒である地理的位置に対して、北緯35度41分15.1秒・東経139度46分24.1秒である地理的位置や、北緯35度41分15.2秒・東経139度46分24.0秒である地理的位置や、北緯35度41分15.1秒・東経139度46分24.0秒である地理的位置などは、いずれも地理的近傍位置である。

【0092】このような、実際の地理的位置に対して一定の範囲、例えば緯度および経度が $\pm 1$ 秒の範囲というような、地理的近傍位置情報を順次生成し、該地理的近傍位置情報から試行用復号鍵を生成して前記暗号化された情報の復号を試み、正しく復号できたか否かを判定し、正しく復号できなかった場合は別の地理的近傍位置

情報で同様に処理を行えばよい。情報復号手段108が、前記暗号化された情報を正しく復号できたか否かを判定するには、例えば暗号化される前の情報に特定のデータパターンを含めておき、復号した情報が同じデータパターンを含むか否かを判定すればよい。

【0093】あるいは、前記暗号化された情報の復号を試み、正しく復号できなかった場合に得られる不適切に復号された情報は意味をなしていないので、該不適切に復号された情報の内容を表示すれば、利用者はその表示を見て正しく復号されたか否かを判断することができる。そこで、上述のような特定のデータパターンを含める代わりに、復号を試みて得られた情報を表示し、利用者は表示された該情報を見て該情報が正しく復号されていないと判断した場合には、別の地理的近傍位置情報から生成された試行用復号鍵で前記暗号化された情報の復号を試みる指示を利用者が入力するようにしてもよい。

【0094】また、前記情報が文字や図形などの情報である場合は、復号を試みて得られた情報を表示すればよいが、前記情報が音声などの情報である場合には復号を試みて得られた情報を音声として再生するようにすればよい。

【0095】なお、生成される地理的近傍位置の範囲は予め設定しておいてもよいし、暗号化された情報に併せて別途範囲を示す情報を送受信するようにしてもよい。

【0096】さらに、ある任意の精度で表わされた地理的位置情報から生成した復号鍵で正しく復号できるように情報を暗号化することで、該情報を復号できる地理的な広さを制御することができる。

【0097】例えば、北緯35度41分15.2秒・東経139度46分24.1秒である地理的位置情報に対して、精度を分単位とすれば北緯35度41分・東経139度46分である異精度地理的位置情報が得られる。この異精度地理的位置情報を表現している数字を順に並べて「354113946」という復号鍵が得られる。同様に、精度を10秒単位とすれば北緯35度41分20秒・東経139度46分20秒から「35412139462」という復号鍵が、精度を秒単位とすれば北緯35度41分15秒・東経139度46分24秒から「3541151394624」という復号鍵が、それぞれ得られる。

【0098】ここで、精度未満の値は四捨五入しているが、切り捨てや切り上げなどによって処理してもよい。また、上記の精度が10秒単位である例のように四捨五入した桁の数字（上記の例では1秒の桁の「0」）は暗号化鍵を生成する際には使用しない。

【0099】前記暗号化された情報が分単位の精度の地理的位置情報から生成された復号鍵で正しく復号できるように暗号化されていれば該情報は約2kmの範囲で、秒単位の精度の地理的位置情報から生成された復号鍵で正しく復号できるように暗号化されていれば該情報は約30mの範囲で、それぞれ復号することができることになる。

【0100】暗号化された情報を受信して復号する際には、GPS受信機104が受信した信号から位置情報生成装置105は精度を順次変更して異精度地理的位置情報を生成し、鍵生成手段106は前記位置情報生成装置105が生成した異精度地理的位置情報それぞれから試行用復号鍵を生成して、情報復号手段108は該試行用復号鍵で該暗号化された情報の復号を試みて、正しく復号できたか否かを判定すればよい。あるいは、上述のように、復号を試みて得られた情報を表示あるいは音声として再生して、利用者が正しく復号できたか判断するようにしてもよい。

【0101】更に、前記暗号化された情報に対して地理的位置情報の精度を表わす精度情報が設定されていれば、前記位置情報生成手段105は前記精度情報が表わす精度の異精度地理的位置情報を生成すればよい。このようにすれば、複数の精度を変更した異精度地理的位置情報を生成する必要がない。

【0102】図3は、情報送受信端末101が受信した暗号化された情報を復号するための処理を示すフローチャートである。

【0103】まず、GPS受信機104はGPS衛星103から信号を受信する（ステップ201；以下、S201と略記する）。

【0104】次に、位置情報生成手段105はS201で受信した信号から地理的現在位置情報である緯度および経度に関する情報を生成する（S202）。

【0105】S201およびS202の処理は、カーナビゲーションシステムなどに一般に利用されている、GPS衛星から信号を受信して緯度および経度に関する情報に変換する処理と同様である。

【0106】次に、鍵生成手段106はS202で生成された地理的現在位置情報から試行用復号鍵を生成し、情報受信手段107で受信された、暗号化された情報を情報復号手段108は該試行用復号鍵で復号する（S203）。地理的現在位置情報から試行用復号鍵を生成する方法の一例は前述のとおりである。

【0107】次に、S203で該暗号化された情報が正しく復号できたか否かを判定する（S204）。正しく復号できたか否かを判定する方法の一例は前述のとおりである。また上述のような、正しく復号できたか否かの判定を利用者が行う形態では、S204の処理を「復号の再試行の指示が入力されたか」を判定する処理に置き換えればよい。正しく復号できた場合は処理を終了する。正しく復号できなかった場合はS205に処理を進める。

【0108】次に、位置情報生成手段105はS202で生成された地理的現在位置情報の近傍となる、地理的近傍位置情報を生成する（S205）。地理的近傍位置情報の一例は前述のとおりである。

【0109】次に、鍵生成手段106はS205で生成された地理的近傍位置情報から試行用復号鍵を生成し、情報受



信手段107 で受信された、暗号化された情報を情報復号手段108 は該試行用復号鍵で復号する (S206)。地理的近傍位置情報から試行用復号鍵を生成する方法の一例は前述のとおりである。

【0110】次に、S206で該暗号化された情報が正しく復号できたか否かを判定する (S207)。正しく復号できたか否かを判定する方法の一例は前述のとおりである。なお、上述したS204の処理の変形例は、S207の処理にも適用可能である。正しく復号できた場合は処理を終了する。正しく復号できなかった場合はS208に処理を進める。

【0111】次に、S202で生成した地理的位置情報の近傍となる地理的近傍位置情報すべてについてS205乃至S207の処理を行ったか否かを判定する (S208)。すべての近傍について処理を行った場合はS209に処理を進める。すべての近傍について処理を行っていない場合はS205に処理を戻し、別の地理的近傍位置情報についてS205乃至S207の処理を行う。

【0112】S205乃至S208の処理の詳細は後述する。

【0113】次に、位置情報生成手段105 はS202で生成された地理的位置情報の精度を下げた異精度地理的位置情報を生成する (S209)。地理的位置情報の精度を変更する方法の一例は前述の通りである。

【0114】次に、鍵生成手段106 はS209で生成された異精度地理的位置情報から試行用復号鍵を生成し、情報受信装置107 で受信された、暗号化された情報を情報復号手段108 は該試行用復号鍵で復号する (S210)。

【0115】次に、S210で該暗号化された情報が正しく復号できたか否かを判定する (S211)。正しく復号できたか否かを判定する方法の一例は前述のとおりである。なお、上述したS204の処理の変形例はS211の処理にも適用可能である。正しく復号できた場合は処理を終了する。正しく復号できなかった場合はS212に処理を進める。

【0116】次に、S209で下げた精度が、予め設定された最低限の精度に達したか否かを判定する (S211)。最低限の精度に達した場合は処理を終了する。最低限の精度に達していない場合はS209に処理を戻す。

【0117】前記最低限の精度は、本発明に関わる情報へのアクセス制御方法を実施する装置間で予め定めておき、位置情報生成手段105 が記憶している。あるいは、前記暗号化された情報に前記最低限の精度を表わす情報を付加しておき、位置情報生成手段105 は該最低限の精度を表わす情報を参照するようにしてもよい。このようにすれば、暗号化された情報ごとに異なる最低限の精度を設定することができるので、ある情報は広い地理的範囲で正しく復号することができ、別の情報は狭い地理的範囲で正しく復号することができるように、正しく復号できる地理的な範囲を制御することができる。

【0118】S209乃至S212の処理の詳細は後述する。

【0119】図4は、図3におけるS205乃至S208の処理の詳細を説明するためのフローチャートである。

【0120】まず、位置情報生成手段105 は、情報受信手段107 で受信された、近傍となる地理的近傍位置の範囲に関する情報の取得を試みる (S301)。該地理的近傍位置の範囲に関する情報は、暗号化された情報とは別に情報受信手段107 で予め受信されていて記憶手段109 に記憶されていてよいし、暗号化された情報に付加されていて情報受信手段107 で同時に受信されてもよい。

【0121】次に、S301で地理的近傍位置の範囲に関する情報を取得できたか否かを判定する (S302)。地理的近傍位置の範囲に関する情報を取得できた場合はS304に処理を進める。取得できなかった場合はS303に処理を進める。

【0122】S302で地理的近傍位置の範囲に関する情報を取得できなかった場合は、予め位置情報生成手段105 に設定されて記憶されている、デフォルトの地理的近傍位置の範囲に関する情報を取得する (S303)。デフォルトの地理的近傍位置の範囲に関する情報は記憶手段109 に記憶しておいて、それを参照するようにしてもよい。

【0123】次に、実際の経度 $X_0$ の近傍の位置の経度 $X$ を計算するための変数 $x$ に、最小の経度の範囲の値を代入する (S304)。例えばS301あるいはS303で取得された、近傍となる地理的位置の範囲が実際の経度の $\pm 1$ 秒の範囲であれば、最小の値である $-1$ 秒を $x$ に代入する。

【0124】次に、実際の緯度 $Y_0$ の近傍の位置の緯度 $Y$ を計算するための変数 $y$ に、最小の緯度の範囲の値を代入する (S305)。

【0125】次に、実際の経度 $X_0$ に $x$ を加えた値を近傍の位置の経度 $X$ の値に、実際の緯度 $Y_0$ に $y$ を加えた値を近傍の位置の緯度 $Y$ の値に、それぞれ代入する (S306)。

【0126】次に、経度が $X$ 、緯度が $Y$ である地理的位置情報から鍵生成手段106 は試行用復号鍵を生成し、情報受信装置107 で受信された、暗号化された情報を情報復号手段108 は該試行用復号鍵で復号する復号化処理を行う (S307)。この処理は図3のS206の処理と同じである。

【0127】次に、S307で前記暗号化された情報が正しく復号できたか否かを判定する (S308)。この処理は図3のS207の処理と同じである。正しく復号できた場合は処理を終了する。正しく復号できなかった場合はS309に処理を進める。

【0128】S308で正しく復号できなかった場合、 $x$ の値に、経度の近傍を計算するための経度の単位量である $\Delta x$ を加算する (S309)。経度の単位量 $\Delta x$ は、位置情報生成手段105 が生成する経度の精度での最小の値とすればよい。例えば位置情報生成手段105 が0.1秒単位の精度の経度を生成するならば $\Delta x$ は0.1秒となる。

【0129】次に、 $x$  の値が最大の経度の範囲の値より大きいかなかを判定する (S310)。例えば、近傍となる地理的位置の範囲が実際の経度の $\pm 1$ 秒であれば $x > 1$ 秒であるかなかを判定する。 $x$  の値が最大の経度の範囲の値より大きい場合はS311に処理を進める。 $x$  の値が最大の経度の範囲の値より小さいか等しい場合はS306に戻って処理を続ける。

【0130】S310で $x$  の値が最大の経度の範囲の値より大きい場合は、 $x$  の値に最小の経度の範囲の値を代入する (S311)。この処理はS304と同様である。

【0131】次に、 $y$  の値に、緯度の近傍を計算するための緯度の単位量である $\Delta y$ を加算する (S312)。S309で説明したのと同様に、緯度の単位量 $\Delta y$ は、位置情報生成手段105が生成する緯度の精度での最小の値とすればよい。

【0132】次に、 $y$  の値が最大の緯度の範囲の値より大きいかなかを判定する (S313)。S310と同様に、例えば近傍となる地理的位置の範囲が実際の緯度の $\pm 1$ 秒であれば $y > 1$ 秒であるかなかを判定する。 $y$  の値が最大の緯度の範囲の値より大きい場合は処理を終了する。 $y$  の値が最大の緯度の範囲の値より小さいか等しい場合はS306に戻って処理を続ける。

【0133】以上、図4で説明した処理によれば、実際の地理的位置を中心とする矩形の領域を地理的近傍位置の範囲とすることができる。これ以外にも、例えばS310およびS313の処理の代わりに、(0, 0)と( $x$ ,  $y$ )との距離が地理的近傍位置の範囲とする距離以下、すなわち、 $x$  の値の2乗と $y$  の値の2乗を足した値の平方根の値が地理的近傍位置の範囲とする距離の値より大きいかなかを判定する処理とすれば、実際の地理的位置を中心とする円形の領域を地理的近傍位置の範囲とすることができる。

【0134】あるいは、これ以外にも経度が $X_0 + x$ 、緯度が $Y_0 + y$ で表わされる位置が地理的近傍位置となる条件を満たすかなかの判定を、別途記憶される地図情報などを参照して行う処理とすれば、行政区域などの複雑な形を有する領域を地理的近傍位置の範囲とすることができる。また、このような地図情報を参照すれば、上記のように地理的位置情報として緯度と経度を利用する以外にも、地名を利用して、隣接する地域の地名を地理的近傍位置とするようにできる。

【0135】図5は、図3におけるS209乃至S212の処理の詳細を説明するためのフローチャートである。

【0136】まず、位置情報生成手段105は、情報受信手段107で受信された、異精度地理的位置情報の精度に関する情報の取得を試みる (S401)。異精度地理的位置情報の精度に関する情報は、異精度地理的位置情報の最高の精度、最低の精度、および段階的に表わされる最高の精度と最低の精度との中間の精度などの情報である。該異精度地理的位置の精度に関する情報は、暗号化

された情報とは別に情報受信手段107で予め受信されていて記憶手段109に記憶されていてもよいし、暗号化された情報に付加されていて情報受信手段107で同時に受信されてもよい。

【0137】次に、S401で異精度地理的位置の精度に関する情報を取得できたかなかを判定する (S402)。異精度地理的位置の精度に関する情報を取得できた場合はS404に処理を進める。取得できなかった場合はS403に処理を進める。

【0138】S402で異精度地理的位置の精度に関する情報を取得できなかった場合は、予め位置情報生成手段105に設定されて記憶されている、デフォルトの異精度地理的位置の精度に関する情報を取得する (S403)。デフォルトの異精度地理的位置の精度に関する情報は記憶手段109に記憶しておいて、それを参照するようにしてもよい。

【0139】次に、処理中の精度を記憶する変数 $p$ に、最も高い地理的位置の精度で表現できる最小の地理的位置の値を代入する (S404)。例えば最も高い地理的位置の精度では最小限0.1秒までを表現できる場合、 $p$ に0.1秒を代入する。

【0140】あるいは、変数 $p$ には地理的位置を表現する桁数を、処理中の精度として代入してもよい。例えば、緯度および経度を度単位で表現するときに、小数点以下の桁数で精度を表わすすると、最も高い精度が0.1秒であることは桁数が5桁であるとして表現できるので、 $p$ に5を代入する。この方法では精度を桁数で表現するので、変数 $p$ の値を増減するだけで処理中の精度を変更でき、処理が単純になる。一方、変数 $p$ で表わされる精度に対応する値は指数的に変化するので、精度を複雑に変化させたい場合には向かない。

【0141】次に、変数 $p$ の値を、精度を1段階下げた状態を表わす値に変更する (S405)。例えば $p$ の値が1秒であり、これよりも1段階下げた精度が2秒単位であるとする、 $p$ の値を2秒に変更する。

【0142】この、各段階の精度を表わす値は、各段階の精度が一定間隔であるような場合には計算によって求めることができる。あるいは、前記異精度地理的位置情報の精度に関する情報に各段階の精度を表わす値が含まれている場合には、該各段階の精度を表わす値を予めテーブルとして記憶しておき、該テーブルを参照して求めてもよい。あるいは、前述のように精度を桁数で表現する場合は、S405の処理では例えば $p$ の値を1だけ減じればよく、このようにすれば指数的に精度を下げることができる。

【0143】次に、実際の地理的位置情報から $p$ で表わされる精度の異精度地理的位置情報を生成する (S406)。例えば $p$ の値が1秒である時、北緯35度41分15.2秒を1秒単位の精度にすることによって北緯35度41分15秒が生成される。また $p$ が桁数で表現される場合は、例



えばpの値が3の時、異精度地理的位置の精度は0.1分になるから、北緯35度41分15.2秒からは北緯35度41分20秒が生成される（ここで、20秒の1桁目はpで表わされる精度よりも小さいので0としている）。なお、以上の例では精度未満の値は四捨五入している。このような処理を緯度と経度の両方に行う。

【0144】次に、S406で生成された異精度地理的位置情報から鍵生成手段106は試行用復号鍵を生成し、情報受信装置107で受信された、暗号化された情報を情報復号手段108は該試行用復号鍵で復号する復号化処理を行う（S407）。この処理は図3のS206の処理と同じである。

【0145】次に、S407で前記暗号化された情報が正しく復号できたか否かを判定する（S408）。この処理は図3のステップS211と同じである。正しく復号できた場合は処理を終了する。正しく復号できなかった場合はS409に処理を進める。

【0146】次に、pが予め設定された最低限の精度に達したか否かを判定する（S409）。最低限の精度に達した場合は処理を終了する。最低限の精度に達していない場合はS405に処理を戻す。

【0147】以上の処理によれば、ある地理的位置で正しく復号できるように暗号化された情報を、前記異精度地理的位置情報の精度に関する情報で表わされるいずれかの精度で表現された異精度地理的位置情報から生成される復号鍵で復号を試すことができる。

【0148】以下、図6乃至図10を参照して、本発明に関わる情報へのアクセス制御方法を実施したシステムを利用した遊技方法の具体的な例を説明する。

【0149】図6は遊技方法の流れを具体的に説明するための図である。図6において、501は遊技（または遊戯）に利用する情報を管理し無線で送受信する遊技情報サーバ、502は端末装置との無線通信を行うための遊技情報サーバに接続されたアンテナ、503は第一の遊技者、504は第一の遊技者が持つ遊技を行うための端末装置、505は第二の遊技者、506は第二の遊技者が持つ遊技を行うための端末装置、である。

【0150】遊技情報サーバ501および端末装置504および506はそれぞれ本発明に関わる情報へのアクセス制御方法を実施するアクセス制御装置であり、前記遊技情報サーバ501は図2に示したサーバ装置120、端末装置504および506は図1に示した情報送受信端末101に、それぞれ相当している。

【0151】図6の(1)は、第一の遊技者がA地点の近くの場所であるA'地点にいる状態である。この場所で、A地点の地理的位置情報の精度を下げた異精度地理的位置情報から生成された復号鍵で正しく復号できるように暗号化された第一の情報を、第一の遊技者が持つ端末装置504が遊技情報サーバ501から受信し、該第一の情報の復号を試みたとする。この場合、A'地点を表わ

す地理的現在位置情報の精度を下げて得られる異精度地理的位置情報は、A地点の地理的位置情報の精度を下げた異精度地理的位置情報と等しくなるので、該第一の情報はA'地点で正しく復号することができる。

【0152】A'地点で前記第一の情報を復号して、図7に示すような内容の情報が表示されたとする。この情報は第一の遊技者503の実際にいる場所の近くで見ることのできる、より詳細な情報があること、つまり、より精度の高い地理的位置情報から生成される復号鍵で正しく復号できる場所および暗号化された情報が近くにあることを示唆している。このようにして、精度を下げた異精度地理的位置情報から生成した復号鍵を用いることによって、広範囲で復号できるように情報を暗号化することができ、宝探しのような遊技において正確な場所のヒントを遊技者に与えることができる。

【0153】次に、第一の遊技者503は図7の画面を見て、A地点まで移動したとする（図6の(2)）。A地点では、A地点を表わす高い精度の地理的位置情報から生成した復号鍵で正しく復号できるように暗号化された第二の情報を遊技情報サーバ501から受信し、該情報の復号を試みたとする。このとき、第一の遊技者503は、A'地点で地理的位置情報の精度を上げることが示唆されているので、A地点を表わす高い精度の地理的位置情報から生成した復号鍵を用いることによって、A地点では該第二の情報を正しく復号することができる。なお、該第二の情報はA'地点では正しく復号することはできないことに注意されたい。

【0154】前記第二の情報を正しく復号すると、図8に示すような内容の情報が表示される（図6の(3)）。この復号された情報には、「B地点まで連れていってもらえませんか」という、遊技者に対する指示が含まれている。

【0155】第一の遊技者503は図8に示したような指示の内容に従って、B地点まで移動したとする（図6の(4)）。端末装置504はB地点の地理的位置情報と図6の(3)で復号された前記第二の情報に含まれている移動先に関する情報とを比較して一致したので、図9に示す内容を表示する。

【0156】図9に示した内容は、A地点で受信した前記第二の情報に予め含まれていてもよいし、前記第二の情報の内容に従って、第三の情報としてB地点で遊技情報サーバ501から受信するようにしてもよい。前記第三の情報はB地点の地理的位置情報で生成された復号鍵で正しく復号できるように暗号化してもよい。

【0157】このようにして、前記第二の情報に含まれる指示に従った報酬となるような情報を前記第一の遊技者503に与えることができる。更に、前記第三の情報に得点あるいは特別なアイテムなどが遊技者に与えられるようにすれば、遊技者が指示に従うモチベーションを高めることができる。

【0158】次に、第一の遊技者503は前記第二の情報（図8参照）をB地点の地理的位置情報から生成された復号鍵で復号できるように暗号化して、遊技情報サーバ501に送信する（図6の(5)）。該暗号化された情報を第四の情報と呼ぶことにする。なお、B地点の地理的位置情報からの暗号化鍵の生成は、情報送受信端末101の鍵生成手段106によって行われ、暗号化された第四の情報の生成は、情報暗号化手段110によって行われ、第四の情報の遊技情報サーバ501に対する送信は、情報発信手段111によって行われる。

【0159】図6の(5)で前記第二の情報を暗号化して第四の情報とする前に、予め該第二の情報に含まれる新たな移動先の候補のリストから新たな移動先を選択して設定するようにしてもよい。このようにすれば、次に該第四の情報を受信して復号する別の遊技者に、新たな指示を与えることができる。ここで、新たな移動先を指定しなければ、該第四の情報による遊技者への指示は第二の情報と同じ「B地点まで連れていってもらえませんか」になってしまうことに注意されたい。上述のように新たな移動先を設定することによって、例えば「C地点まで連れていってもらえませんか」というように、遊技者への指示を変更することができる。

【0160】図6の(5)で暗号化された前記第四の情報を遊技情報サーバ501から受信した第二の遊技者505は、別の場所からB地点に移動してくることによって、B地点の地理的位置情報から生成された復号鍵で該第四の情報を復号すると、図10に示す内容を見ることができる。

【0161】以上のように、A地点で正しく復号できて内容を参照することができた前記第二の情報は、第一の遊技者503によってB地点まで運ばれて、再び暗号化されて前記第四の情報となり、更に前記第四の情報は前記第二の遊技者505によって参照される。このようにして、情報が実際の場所に存在するかのように扱える、宝探しのような遊技を実現することができる。

【0162】このとき、上述のように情報を地理的位置情報から生成された復号鍵で復号できるように暗号化しておくことによって、該情報を改竄して内容を参照することが困難になるので、遊技に対する不正を防止することができる。また、情報送受信端末101が位置する地理的現在位置情報が、復号鍵を生成するのに用いられた地理的位置情報と一致する場合のみ、情報に対するアクセスが許可されるので、アクセスを許可するための許可情報を情報格納手段に記憶しておく形態のような、許可情報の改竄によってアクセス制御を破られるおそれがない。したがって、本発明のアクセス制御方法および該方法を実施するアクセス制御装置、並びにアクセス制御システムでは、情報のセキュリティが二重に守られているといえる。

【0163】また、遊技情報サーバ501が、ある情報を

正しく復号できるように必要な復号鍵を生成する地理的位置情報を適宜変更していけば、該情報が実際の場所を移動しているかのように扱うことができる。このようにすると、動き回る仮想的な動物を捜しまわるような遊技を実現することができる。

【0164】更に、図6の(5)で第一の遊技者503が、例えばメッセージを入力するというように、前記第二の情報の内容を変更した後に暗号化して第四の情報としてもよい。このようにして、メッセージを追記していくことにより特定の場所でのみ内容を参照できる掲示板のようなメッセージデータを利用したコミュニケーションを実現することができる。

【0165】（第二の実施形態）本発明の第二の実施形態について図11および図12に基づいて説明すれば、以下のとおりである。第一の実施形態では地理的位置情報を利用した情報へのアクセス制御方法および装置の具体的な例について説明した。第二の実施形態では時間情報を利用した例について説明する。また、時間情報から生成された復号鍵で復号できるように暗号化された情報を、端末装置の持つ識別子から生成された復号鍵で復号できるように更に暗号化することによって、該情報にアクセスできる端末装置の範囲を絞る例についても説明する。

【0166】図11は本発明の第二の実施形態に関わる情報へのアクセス制御装置を利用した、情報の送受信を行うシステムの構成を示すブロック図である。

【0167】図11において、601は蓄積している情報を時間情報から生成した復号鍵で復号できるように暗号化して情報受信端末602に送信するための情報サーバ、602は情報の受信を行う情報受信端末、603は時間情報を配信する時間情報サーバ、604は一つあるいは複数の情報サーバ601や情報送受信端末602や時間情報サーバ603を接続するためのネットワーク、である。ここで示している情報サーバ601や情報受信端末602や時間情報サーバ603の個数はこれには限らない。

【0168】情報受信端末602には、時間情報サーバ603から時間情報を受信する時間情報測定手段605、時間情報測定手段605から供給された信号から現在時間情報を生成する時間情報生成手段606、情報サーバ601から暗号化された情報を受信するための情報受信手段607

（第一の通信手段）、情報受信端末602それぞれに固有の識別子を記憶する端末識別子記憶手段608、端末識別子記憶手段608に記憶された識別子あるいは時間情報生成手段605で生成された現在時間情報から試行用復号鍵を生成する鍵生成手段609（試行用復号鍵生成手段および第一の暗号化鍵生成手段）、情報受信手段607で受信された前記暗号化された情報を前記鍵生成手段609で生成された試行用復号鍵で復号する情報復号手段610、情報復号手段610で復号された情報を記憶するための記憶手段611、がそれぞれ設けられている。

【0169】ここでは実際の時間を得る手段として、時間情報サーバ603 と時間情報測定手段605 の組み合わせを示しているが、これ以外にもGPS 衛星などから受信した信号を処理して実際の時間を得てもよいし、情報受信端末602 内に時計を内蔵して時間情報サーバ603 を用いない形態としてもよい。

【0170】後者の時計を内蔵する方法では、時計の計測する時刻が不正確であるという問題や、利用者によって故意に実際の時間と異なる時間を設定されるという問題を防止するために、ネットワークに接続されている時には時計の計測する時刻を時間情報サーバ603 から供給される時間に合わせたり、外部からの設定の変更ができないようにしてもよい。

【0171】鍵生成手段609 が現在時間情報から試行用復号鍵を生成する方法は、前述の地理的現在位置情報から試行用復号鍵を生成する方法と同様である。例えばある時刻2000年 7月11日18時19分45秒から、この時刻を表現するのに使われている数字を順に並べて「20000711181945」という復号鍵を得ることができる。ここで-7月は桁数を統一するために「07」として、0を含めて並べている。また、特定の時刻から経過した時間を秒単位などの予め定められた単位で表現した値を復号鍵としてもよい。

【0172】ある時間の近傍となる時間情報を生成する方法や、ある時間の精度を段階的に変更して時間情報を生成する方法については、前述の地理的位置情報で示した例と同様である。しかしながら、前記暗号化された情報を復号する処理を行っている間は別の試行用復号鍵での復号を試行することができないため、非常に精度の高い時間情報を利用すると、復号処理を行っている間に正しく復号できる時刻が過ぎてしまうという問題が時間情報の場合には考えられる。この問題を解決するために、復号鍵を生成するための時間情報の最大の精度をある程度低くして、該精度で表わすことのできる最小の時間単位が上記の復号処理に要する時間よりも長くなるようにしてもよい。

【0173】端末識別子記憶手段608 に記憶される識別子の一例としては、電話番号やIP(Internet Protocol)アドレスなどの数字がある。これらのような、数値で表わされる識別子の場合には識別子をそのまま復号鍵とすればよい。また、電話番号やIPアドレスは階層的な情報で構成されているので、例えば電話番号のうち市外局番のみを復号鍵として使用すれば同じ市外局番を持つ端末装置で正しく復号できる、というように階層の一部から生成した復号鍵で正しく復号できるように暗号化することによって、復号できる端末装置の範囲を指定した暗号化が可能となる。

【0174】このような識別子を利用した、復号できる端末の範囲を指定した暗号化は、本第二の実施の形態のような時間情報を利用した例だけでなく、第一の実施の

形態で説明したような地理的位置情報を利用した例にも適用可能である。

【0175】また、復号できる端末装置の範囲を限定しない情報の場合には、すべての端末装置を含むような最上位の階層を表わす、識別子の一部分から生成された復号鍵で復号できるように更に暗号化してもよいし、識別子から生成された復号鍵で復号できるような更なる暗号化を省略してもよい。

【0176】図12は、情報受信端末602 が情報サーバ601 から受信した、暗号化された情報を復号するための処理を示すフローチャートである。ここで、該暗号化された情報は、ある時間情報から生成した復号鍵で正しく復号できるように暗号化された後に、情報を受信する端末のうちの一つの持つ識別子から生成した復号鍵で正しく復号できるように更に暗号化されているとする。

【0177】まず、鍵生成手段609 は端末識別子記憶手段608 に記憶される識別子から試行用復号鍵を生成し、情報復号手段610 は該試行用復号鍵で情報受信手段607 が情報サーバ601 から受信した暗号化された情報の復号を試みる(S701)。

【0178】次に、S701で前記暗号化された情報が正しく復号されたか否かを判定する(S702)。正しく復号できたか否かを判定する方法の一例は前述のとおりである。正しく復号できた場合はS703に処理を進める。正しく復号できなかった場合は処理を終了する。

【0179】なお、上述のように、すべての端末装置がアクセスできる情報に対して識別子から生成した復号鍵で正しく復号できるような更なる暗号化を省略する場合には、S701の処理の前に、情報受信手段607 が情報サーバ601 から受信した暗号化された情報が、更なる暗号化が省略されているか否かを判定し、省略されている場合にはS701およびS702の処理を省略すればよい。更なる暗号化が省略されているか否かを判定するためには、例えば更なる暗号化を省略した情報には特定のデータパターンを含めておいて、該特定のデータパターの有無を判断するようにすればよい。

【0180】次に、時間情報測定手段605 は時間情報サーバ603 から信号を受信する(S703)。

【0181】次に、時間情報生成手段606 はS703で受信した信号から現在時間情報を生成する(S704)。

【0182】次に、鍵生成手段609 はS704で生成された現在時間情報から試行用復号鍵を生成し、情報復号手段610 は該試行用復号鍵でS701で復号された情報の復号を試みる(S705)。時間情報から試行用復号鍵を生成する方法の一例は前述のとおりである。

【0183】次に、S705で該情報が正しく復号されたか否かを判定する(S706)。正しく復号できたか否かを判定する方法の一例は前述のとおりである。正しく復号できた場合はS707に処理を進める。正しく復号できなかった場合はS703に処理を戻す。

【0184】S706で正しく復号できた場合は、復号された情報を記憶手段611に記憶する(S707)。その後、処理を終了する。

【0185】以上の処理により、情報サーバ601から送信された暗号化された情報を情報受信端末602は一旦受信し、該情報受信端末602の持つ端末識別子で復号を試みる。復号に成功した場合は該情報は該情報受信端末602に宛てられた情報であることが分かるので、現在時間情報で復号できるまでS703乃至S706の処理を繰り返すことで、該情報が正しく復号できる復号鍵を生成する時刻に該情報を復号することができる。該情報受信端末602の持つ端末識別子で復号を試みて、復号に失敗した場合は該情報は該情報受信端末602に宛てられた情報ではないので、処理を終了することができる。

【0186】また、S701乃至S702の処理は端末識別子そのまま利用して復号鍵を生成する例について説明したが、ある階層よりも上位に相当する端末識別子の一部分を復号鍵を生成するために利用するようにすれば、一定の階層以上に含まれる情報受信端末602で正しく復号できるように情報を暗号化することができる。

【0187】また、S703乃至S706の処理は、時間情報生成手段606が予め設定された時間情報の精度に従って生成された時間情報から試行用復号鍵を生成する例について説明したが、図5で説明した処理と同様にして、精度を変更した異精度時間情報を生成して復号を試みるようにすれば、正しく復号できる時間の長さ(期間)を、アクセスを制御したい情報に応じて設定することができる。

【0188】さらに、S704乃至S706の処理において、図4で説明した処理と同様にして、S704で生成された現在時間情報から、一つあるいは複数の、時間的に近傍となる近傍時間情報を生成し、現在時間情報から得た試行用復号鍵では正しく復号できなかった時に、前記近傍時間情報から新たな試行用復号鍵を生成して、該新たな試行用復号鍵で前記暗号化された情報の復号を試みるようにしてもよい。

【0189】こうすれば、情報にアクセスしようとする実際の時間が、前記暗号化された情報を正しく復号できるような復号鍵を生成する時間と完全に一致していなくても、時間的に近傍となっていれば、少なくとも1回以上の復号を試みることによって、正しく復号することができる。

【0190】以上説明した、本発明に関わる情報アクセス制御方法の第二の実施形態を広告に利用すると、割引引き情報などの特典情報を暗号化して予め情報受信端末602に対して送信しておけば、お得意様などの特定の利用者を対象として、タイムサービスの詳細内容などの特定の時刻になるまで開示しない情報を配信することができる。上述のように情報を時間情報から生成された復号鍵で復号できるように暗号化しておくことによって、該情

報を改竄して内容を参照することを防止することができる。

【0191】このとき、情報受信端末602は該暗号化された情報が正しく復号されるまで、時間情報生成手段606が生成する時間情報が変化する度に復号を試みてもよいし、あるいは、正しく復号できる時間を予め前記暗号化された情報と共に送信しておけば不要な復号処理を軽減することができる。この場合、情報に対するセキュリティの関係上、前述したように、外部から時間情報の入力を受け付けることができないように情報受信端末602を設定して、正しく復号できる時間を利用者に予め知らせる形態を取ってもよい。正しく復号できる時間を利用者に予め知らせても、実際に情報を復号できるのは、復号鍵を生成した時間情報に現在時間情報が一致したときのみだからである。

【0192】以上説明した情報へのアクセス制御装置は、情報へのアクセス制御処理を機能させるためのプログラムで実現される。このプログラムはコンピュータで読み取り可能な記録媒体に格納されている。本発明では、この記録媒体として、一般的なコンピュータで処理が行われるために、一般的なコンピュータに内蔵あるいは接続されるROM(Read Only Memory)などのメモリがプログラムメディアであってもよいし、また、外部記憶装置としてプログラム読み取り装置が設けられ、そこに記録媒体を挿入することで読み取り可能なプログラムメディアであってもよい。

【0193】いずれの場合においても、格納されているプログラムはマイクロプロセッサがアクセスして実行させる構成であってもよいし、あるいはいずれの場合もプログラムを読み出し、読み出されたプログラムは、一般的なコンピュータに構成されるRAM(Random Access Memory)などのプログラム記憶エリアにダウンロードされて、そのプログラムが実行される方式であってもよい。このダウンロード用のプログラムは予め本体装置に格納されているものとする。

【0194】ここで上記プログラムメディアは、本体と分離可能に構成される記録媒体であり、磁気テープやカセットテープ等のテープ系、フロッピーディスクやハードディスク等の磁気ディスクやCD-ROM/MO/MD/DVD等の光ディスクのディスク系、ICカード(メモリカードを含む)/光カード等のカード系、あるいはマスクROM、EPROM、EEPROM、フラッシュROM等による半導体メモリを含めた固定的にプログラムを担持する媒体であってもよい。

【0195】また、本発明においてはインターネットを含む通信ネットワークと接続可能なシステム構成であることから、通信ネットワークからプログラムをダウンロードするように流動的にプログラムを担持する媒体を用いてもよい。尚、このように通信ネットワークからプログラムをダウンロードする場合には、そのダウンロード

用プログラムは予め本体装置に格納しておくか、あるいは別な記録媒体からインストールされるものであってもよい。

【0196】尚、記録媒体に格納されている内容としてはプログラムに限定されず、データであってもよい。

【0197】

【発明の効果】・本発明に関わる情報へのアクセス制御方法は、以上のように、地理的位置情報から生成された復号鍵で復号できるように暗号化された情報へのアクセスを制御する方法であって、地理的現在位置情報を生成する第1のステップと、前記第1のステップで生成された地理的現在位置情報から試行用復号鍵を生成する第2のステップと、前記第2のステップで生成された試行用復号鍵で前記暗号化された情報の復号を試みる第3のステップとを備え、前記第1のステップで得られた地理的現在位置情報と前記復号鍵を生成する地理的位置情報とが一致する時にのみ、前記暗号化された情報が復号されることを特徴としている。

【0198】それゆえ、情報にアクセスする機器が実際に位置する場所に応じて情報へのアクセスの可否が決定されるような、場所に応じた情報へのアクセス制御を行うことができる。すなわち、本発明のアクセス制御方法では、アクセスを許可するための許可情報を情報格納手段に記憶しておく形態ではないので、許可情報の改竄によってアクセス制御を破られるおそれが無く、また前記暗号化された情報自体を改竄して情報の内容を参照することも困難であるので、情報に対するセキュリティを高めることができるという効果を奏する。

【0199】・本発明に関わる情報へのアクセス制御方法は、以上のように、上記の構成に加えて、前記地理的現在位置情報から、一つあるいは複数の、地理的に近傍となる地理的近傍位置情報を生成する第4のステップと、前記第3のステップにおいて前記試行用復号鍵では正しく復号できなかった時に、前記第4のステップで生成された地理的近傍位置情報から新たな試行用復号鍵を生成して、該新たな試行用復号鍵で前記暗号化された情報の復号を試みる第5のステップとを備えている。

【0200】それゆえ、さらに、本発明に関わる情報へのアクセス制御方法を実施して情報にアクセスしようとする機器の実際の地理的位置が、前記暗号化された情報を正しく復号できるような復号鍵を生成する地理的位置と完全に一致していなくても、近傍となっていれば、情報の復号を少なくとも1回以上試みることによって、正しく復号できるという効果を奏する。

【0201】・本発明に関わる情報へのアクセス制御方法は、以上のように、上記の構成に加えて、前記地理的現在位置情報から、一つあるいは複数の、地理的位置の精度を変更した異精度地理的位置情報を生成する第6のステップと、前記第3のステップにおいて前記試行用復号鍵では正しく復号できなかった時に、前記第6のステ

ップで生成された異精度地理的位置情報から新たな試行用復号鍵を生成して、該新たな試行用復号鍵で前記暗号化された情報の復号を試みる第7のステップとを備えている。

【0202】それゆえ、さらに、情報へのアクセスを制御する側にとって、復号できる地理的位置を広くしたい情報に対しては精度の粗い地理的位置情報から生成された復号鍵で復号できるように暗号化し、逆に復号できる地理的位置を狭くしたい情報に対しては精度の高い地理的位置情報から生成された復号鍵で復号できるように暗号化することによって、情報にアクセスできる地理的な広さを制御することができるという効果を奏する。

【0203】・本発明に関わる情報へのアクセス制御方法は、以上のように、時間情報から生成された復号鍵で復号できるように暗号化された情報へのアクセスを制御する方法であって、現在時間情報を生成する第1のステップと、前記第1のステップで生成された現在時間情報から試行用復号鍵を生成する第2のステップと、前記第2のステップで生成された試行用復号鍵で前記暗号化された情報の復号を試みる第3のステップとを備え、前記第1のステップで得られた現在時間情報と前記復号鍵を生成する時間情報とが一致する時にのみ、前記暗号化された情報が正しく復号されることを特徴としている。

【0204】それゆえ、さらに、情報にアクセスしようとする時間に応じて情報へのアクセスの可否が決定されるような、時間に応じた情報へのアクセス制御を行うことができる。すなわち、本発明のアクセス制御方法では、アクセスを許可するための許可情報を情報格納手段に記憶しておく形態ではないので、許可情報の改竄によってアクセス制御を破られるおそれが無く、また前記暗号化された情報自体を改竄して情報の内容を参照することも困難であるので、情報に対するセキュリティを高めることができるという効果を奏する。

【0205】・本発明に関わる情報へのアクセス制御方法は、以上のように、上記の構成に加えて、前記現在時間情報から、一つあるいは複数の、時間的に近傍となる近傍時間情報を生成する第4のステップと、前記第3のステップにおいて前記試行用復号鍵では正しく復号できなかった時に、前記第4のステップで生成された近傍時間情報から新たな試行用復号鍵を生成して、該新たな試行用復号鍵で前記暗号化された情報の復号を試みる第5のステップとを備えている。

【0206】それゆえ、さらに、本発明に関わる情報へのアクセス制御方法を実施して情報にアクセスしようとする実際の時間が、前記暗号化された情報を正しく復号できるような復号鍵を生成する時間と完全に一致していなくても、時間的に近傍となっていれば、情報の復号を少なくとも1回以上試みることによって、正しく復号できるという効果を奏する。

【0207】・本発明に関わる情報へのアクセス制御方



法は、以上のように、上記の構成に加えて、前記現在時間情報から、一つあるいは複数の、時間の精度を変更した異精度時間情報を生成する第6のステップと、前記第3のステップにおいて前記試行用復号鍵では正しく復号できなかった時に、前記第6のステップで生成された異精度時間情報から新たな試行用復号鍵を生成して、該新たな試行用復号鍵で前記暗号化された情報の復号を試みる第7のステップとを備えている。

【0208】それゆえ、さらに、情報へのアクセスを制御する側にとって、復号できる時間の範囲を広くしたい情報に対しては精度の粗い時間情報から生成された復号鍵で復号できるように暗号化し、逆に復号できる時間の範囲を狭くしたい情報に対しては精度の高い時間情報から生成された復号鍵で復号できるように暗号化することによって、情報にアクセスできる時間の範囲を制御することができるという効果を奏する。

【0209】・本発明に関わる情報へのアクセス制御方法における前記暗号化された情報は広告に関する情報であることを特徴としている。

【0210】それゆえ、さらに、例えば広告主の店舗に來た人のみが内容を参照できるというような特定の地理的位置からの情報アクセスを許可することで集客効果を上げたり、特定の時間でのみ内容を参照することができるようにしてタイムサービスのように時間を限定する、というような広告を実現することができるという効果を奏する。

【0211】・本発明に関わる情報へのアクセス制御方法における前記暗号化された情報は利用者間でのコミュニケーションを行うためのメッセージデータであることを特徴としている。

【0212】それゆえ、さらに、特定の場所でのみ参照することができる掲示板のようなメッセージを利用したコミュニケーションを行うことができるという効果を奏する。

【0213】・本発明に関わる情報へのアクセス制御方法における前記暗号化された情報は遊技に利用される情報であることを特徴としている。

【0214】それゆえ、さらに、宝探しやオリエンタリングのような、実世界中の位置や時間を利用した遊技を実現することができるという効果を奏する。

【0215】・本発明に関わる情報へのアクセス制御装置は、以上のように、地理的位置情報から生成された復号鍵で復号できるように暗号化された情報へのアクセスを制御するアクセス制御装置であって、地理的現在位置情報を生成する位置情報生成手段と、前記位置情報生成手段によって生成された地理的現在位置情報から試行用復号鍵を生成する試行用復号鍵生成手段と、前記試行用復号鍵生成手段で生成された試行用復号鍵で前記暗号化された情報の復号を試みる情報復号手段とを備え、前記位置情報生成手段で生成された地理的現在位置情報と前

記復号鍵を生成する地理的位置情報とが一致する時にのみ、前記暗号化された情報が復号されることを特徴としている。

【0216】それゆえ、本発明に関わる情報へのアクセス制御装置が実際に位置する場所に応じて情報へのアクセスの可否が決定されるような、場所に応じた情報へのアクセス制御を行うことができる。すなわち、本発明のアクセス制御装置では、アクセスを許可するための許可情報を情報格納手段に記憶しておく形態ではないので、許可情報の改竄によってアクセス制御を破られるおそれ無く、また前記暗号化された情報自体を改竄して情報の内容を参照することは困難であるので、情報に対するセキュリティを高めることができるという効果を奏する。

【0217】・本発明に関わる情報へのアクセス制御装置は、以上のように、上記の構成に加えて、前記位置情報生成手段によって生成された地理的位置情報から暗号化鍵を生成する第一の暗号化鍵生成手段と、前記情報復号手段によって復号された情報を、前記暗号化鍵で暗号化する第一の情報暗号化手段と、ネットワークを介して情報を送受信する第一の通信手段とを備えている。

【0218】それゆえ、さらに、特定の場所でのみ内容を参照することのできる情報を利用した、アクセス制御装置同士のコミュニケーションを取ることができるという効果を奏する。また、あるアクセス制御装置が、暗号化された情報の配信元になるサーバ装置として機能することができるという効果を奏する。

【0219】・本発明に関わる情報へのアクセス制御装置は、以上のように、時間情報から生成された復号鍵で復号できるように暗号化された情報へのアクセスを制御するアクセス制御装置であって、現在時間情報を生成する時間情報生成手段と、前記時間情報生成手段で生成された現在時間情報から試行用復号鍵を生成する試行用復号鍵生成手段と、前記試行用復号鍵生成手段で生成された試行用復号鍵で前記暗号化された情報の復号を試みる情報復号手段とを備え、前記時間情報生成手段で生成された現在時間情報と前記復号鍵を生成する時間情報とが一致する時にのみ、前記暗号化された情報が復号されることを特徴としている。

【0220】それゆえ、情報にアクセスしようとする時間に応じて情報へのアクセスの可否が決定されるような、時間に応じた情報へのアクセス制御を行うことができる。すなわち、本発明のアクセス制御装置では、アクセスを許可するための情報を情報格納手段に記憶しておく形態ではないので、情報の改竄によってアクセス制御を破られるおそれ無く、また、前記暗号化された情報自体を改竄して情報の内容を参照することは困難であるので、情報に対するセキュリティを高めることができるという効果を奏する。

【0221】・本発明に関わる情報へのアクセス制御装

置は、以上のように、上記の構成に加えて、前記時間情報生成手段によって生成された時間情報から暗号化鍵を生成する第一の暗号化鍵生成手段と、前記情報復号手段によって復号された情報を、前記暗号化鍵で暗号化する第一の情報暗号化手段と、ネットワークを介して情報を送受信する第一の通信手段とを備えている。

【0222】それゆえ、さらに、特定の時間でのみ内容を参照することのできる情報を利用した、アクセス制御装置同士のコミュニケーションを取ることができるという効果を奏する。また、あるアクセス制御装置が、暗号化された情報の配信元になるサーバ装置として機能することができるという効果を奏する。

【0223】・本発明に関わる情報へのアクセス制御ネットワークシステムは、以上のように、上述のアクセス制御装置と、任意の場所の地理的位置情報から、情報を暗号化する鍵を生成する第二の暗号化鍵生成手段、暗号化鍵生成手段が生成した暗号化鍵で情報を暗号化する第二の情報暗号化手段、および情報を送受信する第二の通信手段を備えたサーバ装置とを、ネットワークを介して接続したことを特徴としている。

【0224】それゆえ、広範なアクセス制御装置を対象として、場所に応じた情報へのアクセス制御を行うことができ、前記暗号化された情報を改竄して情報の内容を参照することは困難であるので、情報に対するセキュリティを高めることができるという効果を奏する。

【0225】・本発明に関わる情報へのアクセス制御ネットワークシステムは、以上のように、上述のアクセス制御装置と、任意の時間情報から、情報を暗号化する鍵を生成する第二の暗号化鍵生成手段、暗号化鍵生成手段が生成した暗号化鍵で情報を暗号化する第二の情報暗号化手段、および情報を送受信する第二の通信手段を備えたサーバ装置とを、ネットワークを介して接続したことを特徴としている。

【0226】それゆえ、広範なアクセス制御装置を対象として、時間に応じた情報へのアクセス制御を行うことができ、前記暗号化された情報を改竄して情報の内容を参照することは困難であるので、情報に対するセキュリティを高めることができるという効果を奏する。

【0227】・本発明に関わる情報へのアクセス制御プログラムは、以上のように、上述の情報へのアクセス制御方法をコンピュータに実行させるためのプログラムである。

【0228】それゆえ、一般的なコンピュータが上述の情報へのアクセス制御方法を実行することを実現できるという効果を奏する。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第一の実施形態に関わる情報へのアクセス制御装置を利用した、情報の送受信を行うシステムの構成を示すブロック図である。

【図2】情報を発信するのみのサーバ装置の構成の一例

を示すブロック図である。

【図3】地理的位置情報を利用して暗号化された情報を情報送受信端末が受信し、地理的現在位置情報を利用して復号するための処理を示すフローチャートである。

【図4】図3におけるS205乃至S208の処理の詳細を説明するためのフローチャートである。

【図5】図3におけるS209乃至S212の処理の詳細を説明するためのフローチャートである。

【図6】本発明の第一の実施形態に関わる情報へのアクセスを制御システムを利用した遊技方法の具体的な例を説明するための図である。

【図7】本発明の第一の実施形態に関わる情報へのアクセスを制御システムを利用した遊技方法における情報の内容の例を説明する図である。

【図8】本発明の第一の実施形態に関わる情報へのアクセスを制御システムを利用した遊技方法における情報の内容の他の例を説明する図である。

【図9】本発明の第一の実施形態に関わる情報へのアクセスを制御システムを利用した遊技方法における情報の内容のさらに他の例を説明する図である。

【図10】本発明の第一の実施形態に関わる情報へのアクセスを制御システムを利用した遊技方法における情報の内容のさらに他の例を説明する図である。

【図11】本発明の第二の実施形態に関わる情報へのアクセス制御装置を利用した、情報の送受信を行うシステムの構成を示すブロック図である。

【図12】時間情報を利用して暗号化された情報を情報送受信端末が受信し、現在時間情報を利用して復号するための処理を示すフローチャートである。

#### 【符号の説明】

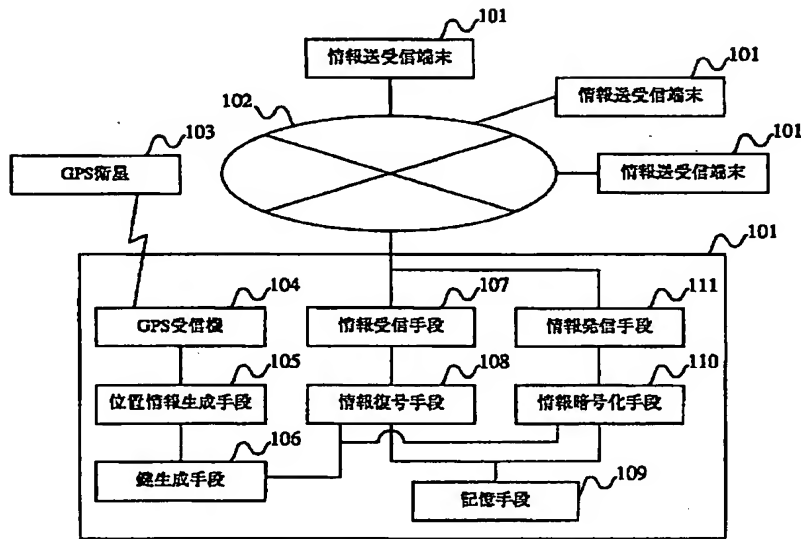
- 101 情報送受信端末（アクセス制御装置）
- 102 ネットワーク
- 103 GPS 衛星
- 104 GPS 受信機
- 105 位置情報生成手段
- 106 鍵生成手段（試行用復号鍵生成手段および第一の暗号化鍵生成手段）
- 107 情報受信手段（第一の通信手段）
- 108 情報復号手段
- 109 記憶手段
- 110 情報暗号化手段（第一の情報暗号化手段）
- 110' 情報暗号化手段（第二の情報暗号化手段）
- 111 情報発信手段（第一の通信手段）
- 111' 情報発信手段（第二の通信手段）
- 120 サーバ装置
- 121 地図情報記憶手段
- 122 位置情報指定手段
- 123 暗号化鍵生成手段（第二の暗号化鍵生成手段）
- 601 情報サーバ
- 602 情報受信端末（アクセス制御装置）



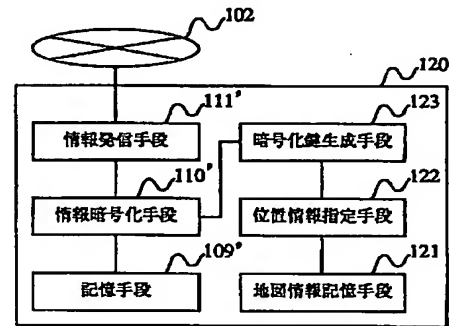
603 時間情報サーバ  
 604 ネットワーク  
 605 時間情報測定手段  
 606 時間情報生成手段  
 607 情報受信手段（第一の通信手段）

608 端末識別子記憶手段  
 609 鍵生成手段（試用用復号鍵生成手段および第一の暗号化鍵生成手段）  
 610 情報復号手段  
 611 記憶手段

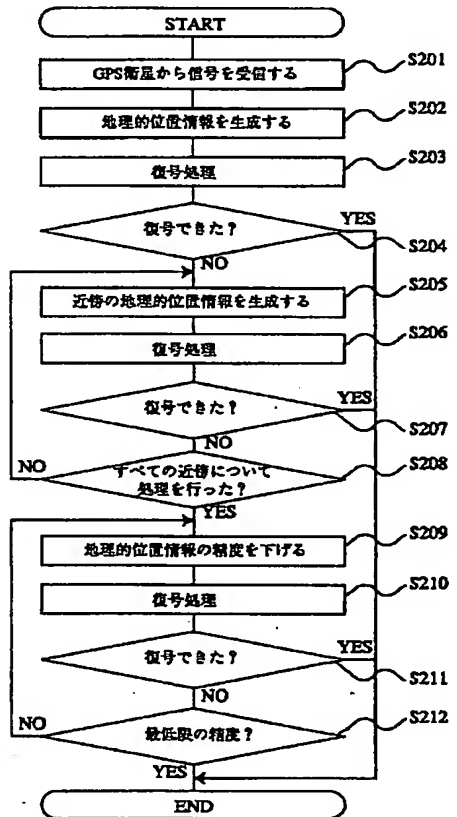
【図1】



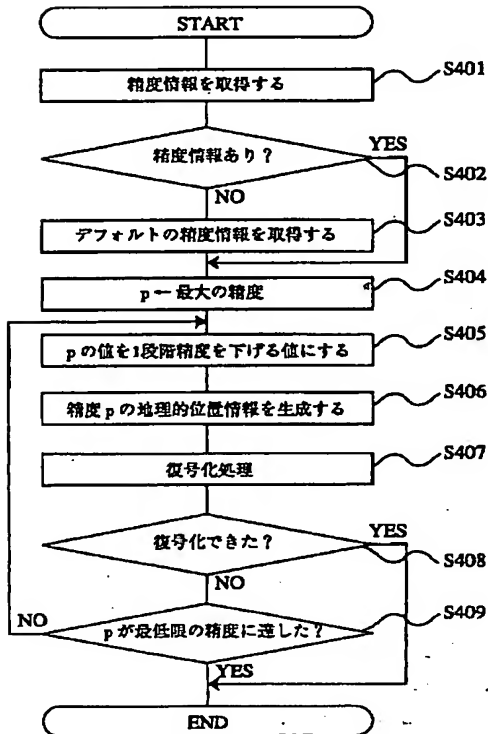
【図2】



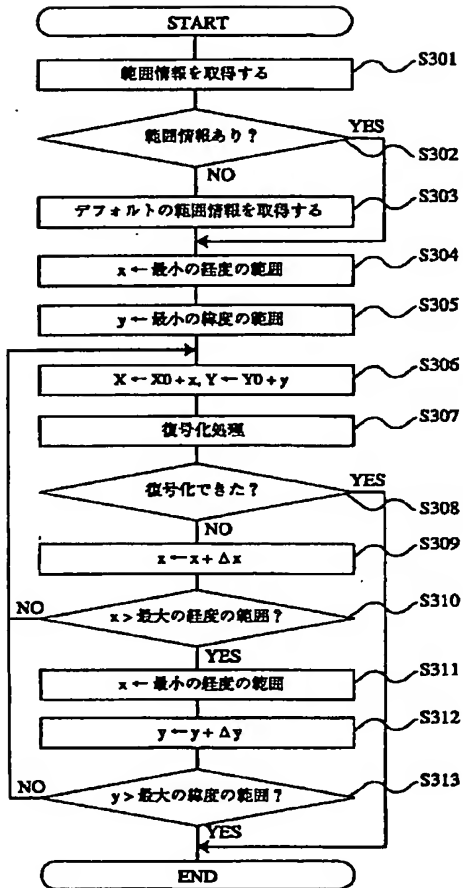
【図3】



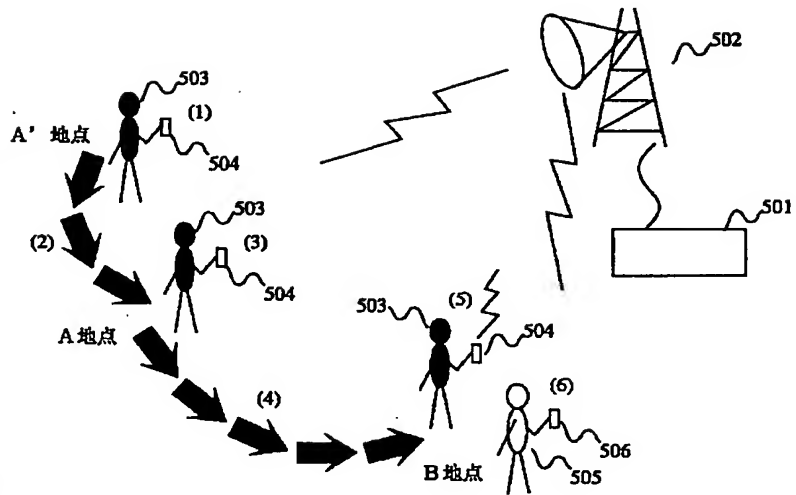
【図5】



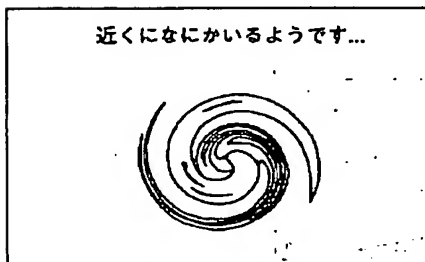
【図4】



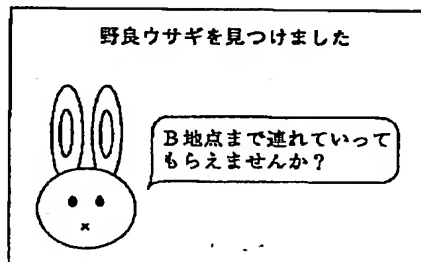
【図6】



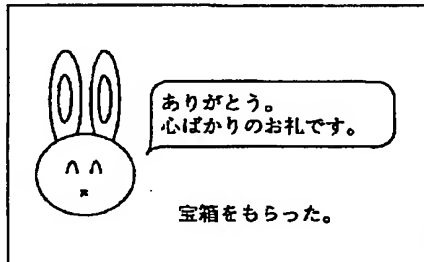
【図7】



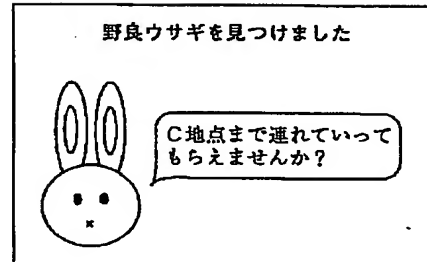
【図8】



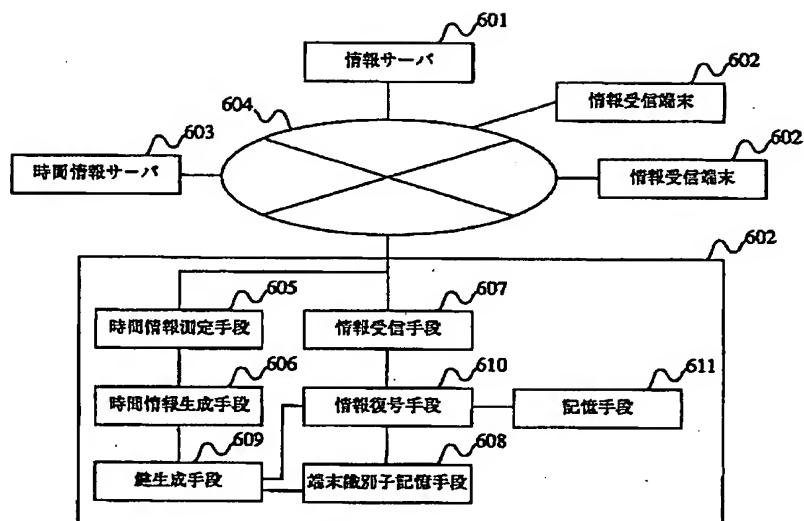
【図9】



【図10】



【図11】



【図12】

